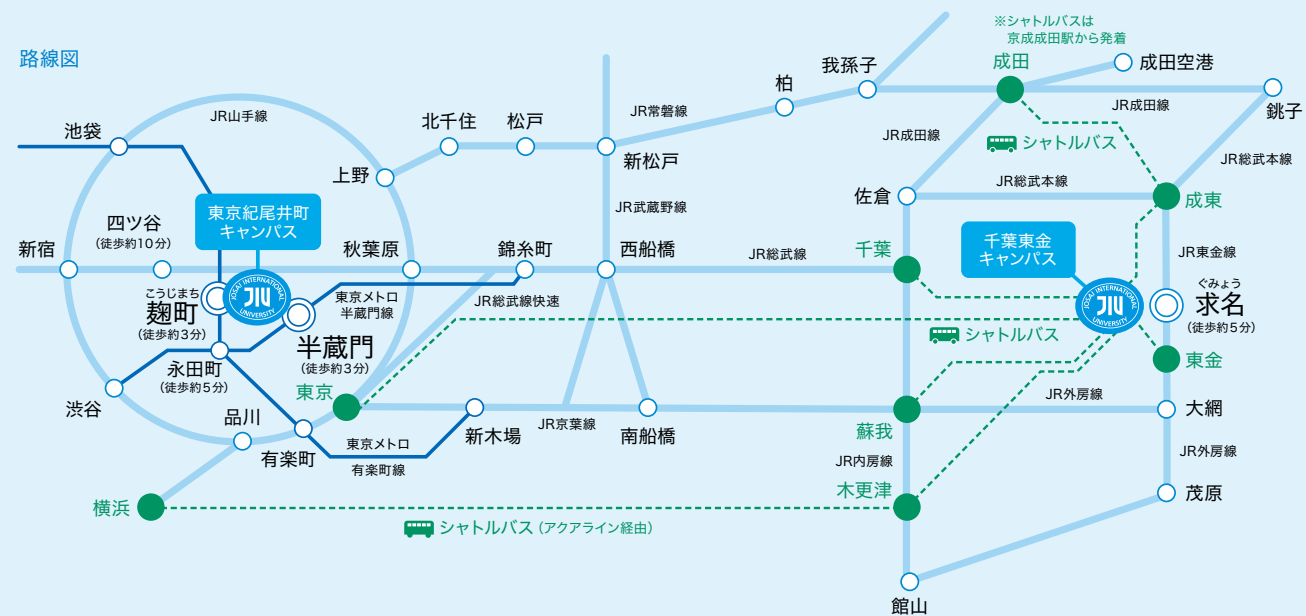


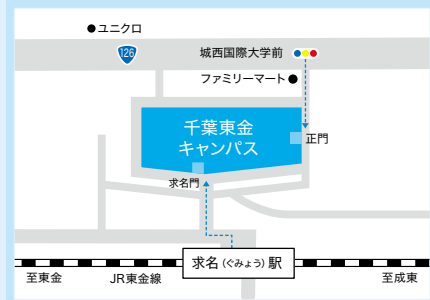
城西国際大学への交通アクセス

<https://www.jiu.ac.jp/access/>



千葉東金キャンパス

- ▶ JR東金線 求名(ぐみょう)駅より徒歩5分
- ▶ 千葉東金有料道路「東金インターチェンジ」直進、車で約20分
- ▶ シャトルバス運行
JR東京駅、JR横浜駅(アクアライン、JR木更津駅経由)、JR千葉駅、JR蘇我駅、JR東金駅、京成成田駅(JR成東駅経由)より



東京紀尾井町キャンパス

- ▶ 東京メトロ有楽町線 麹町駅 1番出口より徒歩3分
- ▶ 東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅 1番出口より徒歩3分
- ▶ 東京メトロ南北線 永田町駅 9a番出口より徒歩5分
- ▶ 東京メトロ丸の内線・銀座線 赤坂見附駅 D出口より徒歩8分
- ▶ JR中央線・総武線 四ツ谷駅より徒歩10分
※本学駐車場はありません。



JOSAI INTERNATIONAL UNIVERSITY

GRADUATE SCHOOL 城西国際大学 大学院 — 2025 —

人文科学研究科
Graduate School of Humanities

経営情報学研究科
Graduate School of Management and Information Sciences

福祉総合学研究科
Graduate School of Social Work Studies

ビジネスデザイン研究科
Graduate School of Business Design

薬学研究科
Graduate School of Pharmaceutical Sciences

国際アドミニストレーション研究科
Graduate School of International Administration

健康科学研究科
Graduate School of Health Sciences



城西国際大学
JOSAI INTERNATIONAL UNIVERSITY

＜千葉東金キャンパス＞ 〒283-8555 千葉県東金市求名1番地 TEL.0475-55-8855 FAX.0475-53-2194 (入試課)
＜東京紀尾井町キャンパス＞ 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-3-20 TEL.03-6238-1111 FAX.03-6238-1117 (入試課)



城西国際大学
JOSAI INTERNATIONAL UNIVERSITY



「これから」をみすえた力の修得を

城西国際大学は、1992年の開学から30年を越える年月を重ね、建学の精神「学問による人間形成」のもと、「国際社会で生きる人間としての人格形成」を教育理念とし、「人生100年時代」にふさわしい人材の育成に取り組んでいます。

1996年に開設した本学大学院は、現在、東京紀尾井町キャンパスと千葉東金キャンパスに7研究科10専攻を擁し、人文科学・社会科学・自然科学というそれぞれの領域における研究環境を整えています。首都圏に都心型・郊外型の2キャンパスを擁する、国際大学・総合大学ならではの多角的な教育・研究への取組みを礎とし、周辺自治体や産業界、海外の高等教育・研究機関などとの協働・連携により、教育面でも研究面でも幅広い成果を挙げています。

多種多様で、膨大な情報を速やかに活用できるようになった昨今、不断の探求心はますます育まれ、皆さんの問題意識は大きく広げられることでしょう。そして、ぶれないモノの見方や考え方に磨きをかけ、それぞれの専門分野で相応の成果を出し、広く社会に貢献することも期待されています。「これまで」を振り返りつつ正しく理解し、「いま」を直視してこそ、「これから」を見通すことができます。ぜひ、皆さんそれぞれの時間軸上を自在に往来し、本学大学院で「ありたい姿」を実現するための力を修得していただきたいと思います。

学長 倉林 眞砂斗
KURABAYASHI Masato

建学の精神 学問による人間形成 教育理念 国際社会で生きる人間としての人格形成

学位授与方針 (ディプロマポリシー)

城西国際大学大学院では、本学の建学の精神「学問による人間形成」及び教育理念「国際社会で生きる人間としての人格形成」に基づき、各課程において、各研究科の履修の定めに即して必要な単位を修得し、必要な修了年限を満たした上で、次の能力を修得していると判断した場合に、修士または博士の学位を授与します。

- ▶幅広い専門的知識・技能及び学際的視点を有し、社会において説明能力・指導力を発揮できること。
- ▶深い人間理解のもと、創造的かつ批判的思考力及び構想力を発揮し、社会の課題解決に向けて行動できること。
- ▶公正な視線のもと、主体的かつ協働的にリーダーシップを発揮し、国際社会・地域社会・産業界等に貢献できること。

教育課程編成・実施方針 (カリキュラムポリシー)

城西国際大学大学院では、学位授与の方針に掲げた学修成果を得る教育課程として、各研究科において必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習等を適切に組み合わせた授業を行います。

- ▶大学院における研究活動を順調に始動させるため、研究遂行力を修得する導入科目・基礎論科目を設置する。

- ▶専門分野の研究遂行に必要な学際的視点・調査・企画・遂行力を修得するため、特論科目を設置する。
- ▶専門分野に係る研究成果を学位論文として仕上げる構想力及び表現力を修得するため、演習科目・研究指導科目を設置する。
- ▶専門関連分野の先端研究成果に触れ、創造的かつ批判的思考力を身に付けるため、特別講義科目を設置する。
- ▶アセスメント・ポリシーを提示し、学位授与の方針に示す能力や大学院生としての成長に伴う達成度を測定、評価する。

城西国際大学大学院が求める人物像 (アドミッション・ポリシー)

城西国際大学大学院は、建学の精神「学問による人間形成」および教育理念「国際社会で生きる人間としての人格形成」を理解し、本学大学院の教育方針に共感を示す以下のような人を広く求めます。

修士課程

- ▶自らの研究分野について学士課程修了相当の基礎的な知識を持ち、それをさらに専門的に深化向上させるために主体的に取り組むことができる人
- ▶研究者倫理について理解している人
- ▶自らの研究分野について強い探求心を持ち、自ら研究課題を設定することができる人
- ▶自らの研究課題や内容を口頭発表や論文で的確に表現できる人
- ▶自らの研究成果を社会的な課題の解決に活用し、

社会の発展に資することに価値を見出すことができる人

- ▶異なる価値観が存在するグローバル社会のリーダーとなり、共に生きることや人が成長することに価値を見出すことができる人

博士課程

- ▶自らの研究分野について修士課程修了相当の専門的な知識を持ち、その更なる深化向上に主体的に取り組む、学位論文にまとめようとする意欲のある人
- ▶学位論文の作成に必要な語学力を有する人
- ▶研究者倫理について理解している人
- ▶自らの研究分野について強い探求心を持ち、独創的な研究課題を設定し、論理的な学位論文をまとめることができると見込める人
- ▶自らの研究課題や内容について学会での口頭発表や論文執筆ができる人
- ▶自らの研究成果を積極的に発表し学問の発展に資することに価値を見出すことができる人
- ▶自らの研究成果を社会的な課題の解決に活用し、社会の発展に資することに価値を見出すことができる人
- ▶異なる価値観が存在するグローバル社会のリーダーとなり、共に生きることや人が成長することに価値を見出すことができる人

Graduate School of Humanities 人文科学研究科	国際文化専攻〔修士課程〕	千葉東金 キャンパス
	女性学専攻〔修士課程〕	千葉東金 キャンパス
	グローバルコミュニケーション専攻〔修士課程〕	千葉東金 キャンパス 東京紀尾井町 キャンパス
	比較文化専攻〔博士後期課程〕	千葉東金 キャンパス
Graduate School of Management and Information Sciences 経営情報学研究科	起業マネジメント専攻〔修士課程〕	千葉東金 キャンパス
	起業マネジメント専攻〔修士課程〕（中小企業診断士登録養成課程）	東京紀尾井町 キャンパス
	起業マネジメント専攻〔博士後期課程〕	千葉東金 キャンパス
Graduate School of Social Work Studies 福祉総合学研究科	福祉社会専攻〔修士課程〕	千葉東金 キャンパス
Graduate School of Business Design ビジネスデザイン研究科	ビジネスデザイン専攻〔修士課程〕	東京紀尾井町 キャンパス
Graduate School of Pharmaceutical Sciences 薬学研究科	医療薬学専攻〔博士課程（4年制）〕	千葉東金 キャンパス
Graduate School of International Administration 国際アドミニストレーション研究科	国際アドミニストレーション専攻〔修士課程〕	東京紀尾井町 キャンパス
Graduate School of Health Sciences 健康科学研究科	健康科学専攻〔修士課程〕	千葉東金 キャンパス

城西国際大学 大学院の特色

千葉東金、東京紀尾井町キャンパスで 教育・研究活動を展開	学部在籍中に大学院の授業を学び、 より短い期間で修了可能	大学院生専用の研究室を設置
インターンシップを実施 海外での長期研修も可能	在学中に教育活動の一端に 触れることができる ティーチング・アシスタント制度の充実	1年の在学で修士課程を 修了できる制度
社会人向けのサポートが充実 全研究科全専攻で社会人入学選抜を実施。 東京紀尾井町キャンパスでも授業を開講しており、 社会人の方でも通学しやすい環境を整えています。	少数精鋭教育による 丁寧な指導	キャリア形成・就職サポート 学内にある「キャリア形成・就職センター」 のスタッフが進路についてサポートします。

Graduate School of Humanities

人文科学研究科

国際文化専攻

[修士課程]

千葉東金
キャンパス国際社会に通用する研究者
及び高度専門職業人を養成します

教育研究上の目的

人文科学研究科は、国際的かつ学際的視野と異文化理解力、コミュニケーション能力を有し、国際社会で活躍できる高度な専門的職業人や、研究者及び教育者を養成する。

国際文化専攻は、国際社会に通用する柔軟で幅広い、高度の体系的知識と実践的能力とを身に付けた研究者及び専門的職業人を養成する。

学位授与方針

(ディプロマポリシー)

人文科学研究科国際文化専攻は、所定の単位を取得して学位論文審査に合格し、かつ以下に該当すると判断した場合に、修士（国際文化）の学位を授与します。

▶日本文化、比較文化のいずれかの専攻分野において、体系的知識を習得し活用することができる。

▶人文科学諸分野の研究方法を理解し、文化学、歴史学、文学、言語学、考古学、文化人類学のいずれかを軸に、学際的視野と高度な研究方法によって、自ら設定した課題について探究することができる。

▶国際的かつ学際的視野をもって各々の文化を捉え、現代社会におけるあり方を考察するとともに、グローバル社会における自らの役割を自覚し、実社会との関わりを踏まえて専門的な知を追究することができる。

▶専門とする分野の必要に応じて、日本語あるいは英語によって、専門的な内容を話し、聞き、書き、読むことができるとともに、社会の様々な場面において、異文化理解能力とコミュニケーション能力を発揮し、課題解決に貢献することができる。

教育課程編成・実施方針

(カリキュラムポリシー)

人文科学研究科国際文化専攻では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、高度な能力によりグローバル社会に貢献できる人材を養成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。

▶人文科学の研究法・調査法、発表法を習得するため、分野共通必修の基礎論科目を設置する。

▶専門とする分野について体系的に学び、設定した研究課題を探究するため、歴史学、文学、言語学を軸に日本文化や日本語を立体的に捉えるための日本文化研究分野、文化、文学、考古学、文化人類学を軸に地域文化を比較し相対化することで新たな側面を発見し、各々の独自性や普遍性を発見するための比較文化研究分野の科目群を設置する。

▶専門知識の習得から研究遂行、その成果発表まで一貫して深めていくため、講義・演習科目からなる分野別の科目群を設置する。

▶研究内容に即して知識や視点を広げるため、日本文化及び文化比較を主題とする特別講義科目を設置する。

▶一貫した指導体制の下で、より高度で専門的な知識を学び、その過程で批判的・論理的思考力、課題探究力、問題解決力、批判的かつ創造的思考力を修得し、研究成果として修士論文を作成するため、少人数制の参加型授業の演習科目を設置する。

▶実地踏査や現地取材のための研修科目、社会人として求められる実践能力を伸長するため、国内・海外インターンシップ科目を設置する。

▶英語文献の読解を通して、専門知識を習得し研究を遂行するため、英語文献講読科目を設置する。

▶国際的な情報交流、情報分析を行うため、日本語と

英語によるコミュニケーション科目を設置する。

▶アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び大学院生としての成長に伴う達成度を測定、評価する。

入学者受入れ方針

(アドミッション・ポリシー)

国際文化専攻（修士課程）

1.知識・理解

▶日本文化研究・比較文化研究の専門的な内容及び方法について、学士課程修了相当の基礎的な知識を有している人

2.技術

▶日本文化研究・比較文化研究の分野において自ら研究課題を設定することができる人

▶自らの研究テーマや内容を、口頭表現や文章表現で的確に伝えられる人

3.態度・志向性

▶文化の多様な側面に関心を持ち、研究をととして理解を深めたいと考えている人

▶異文化理解力とコミュニケーション力を積極的に磨き、その力をもって社会に貢献したいと考えている人

▶文化に係る知識を必要とする専門職を目指している人



2024年度新入生

教員紹介／研究領域 Professors

研究科長／教授

芳賀 浩一 HAGA Koichi

比較文学、

批評理論エクリティシズム

教授

吉田 朋彦 YOSHIDA Tomohiko

言語学、日本語学、

意味論・語用論とその関連領域

准教授

中川 正臣 NAKAGAWA Masaomi

言語教育学、韓国語教育学(カリキュラム
デザイン、評価デザイン、教室と社会を
結ぶ学習デザインなど)

学長／教授

倉林 真砂斗 KURABAYASHI Masato

東アジア、比較考古学

教授

井上 敏昭 INOUE Toshiaki

文化人類学、北方先住民研究

准教授

三島 武之介 MISHIMA Takenosuke

国際政治論、アメリカ外交史、
政治文化論

教授

岡田 美也子 OKADA Miyako

日本文学、
特に中世文学とその周辺

教授

渡邊 拓 WATANABE Taku

日本近代文学

教授

飯倉 章 IIKURA Akira

国際政治

准教授

大森 夕夏 OMORI Yuko

ユダヤ系アメリカ文学

助教

亀井 みどり KAMEI Midori

韓国語学(語彙論)

特色 Features

■ 2つの柱 ―日本文化研究・比較文化研究―

国際文化専攻は、日本文化研究、比較文化研究を柱としています。それぞれの専門科目を「日本文化分野」「比較文化分野」の科目群に配し、文学、歴史、言語、社会などに関するさまざまな授業を開講しています。日本文化分野:日本文化を歴史・文学・言語といった分野において時代別に研究します。比較文化分野:日本とアメリカ、中国、韓国、東南アジアなどの文化を比較、相対化することによって新たな側面や独自性を発見します。

また、「インターンシップ」を導入し、教員・学芸員など専門職に就くためのスキルアップ、社会人としての実践能力の育成を支援し、就職を視野にいれた指導にも力を入れています。



少人数対話型の授業



研究の基礎を確実に身に付ける科目

2023年度修士論文題目例

◎ソール・ベローの『この日をつかめ』における「苦悩」と「救済」

◎日本語の「のだ」と中国語の“是…的”の対照研究—小説の翻訳を中心に

◎日本における若者の自殺に関する研究動向—実際の状況の推移との比較から

◎メディア作品の「聖地巡礼」活動を通じた中国人留学生による文化理解に関する実地研究

◎ボライトネス理論から見た依頼表現の日中対照研究—ドラマにおける生徒の会話の分析

◎中国大陸と台湾の環境文学に関する比較研究—呉明益「雨の島」とアレイ「塵埃落ちた」を例に

◎閩国貿易についての考察-「閩」集団を中心に

修了後の進路 Post-graduation Careers

本専攻修了者は、本学大学院比較文化専攻（博士後期課程）に進んで自分の研究を発展させ、博士（比較文化）の学位取得を目指すことができます。また、修士課程で学んだ専門知識と語学力を生かして、各種教育機関、地方自治体、国内企業、外資系企業など、多様な進路が期待できます。

■ 修了者の進路先実績

城西国際大学大学院博士後期課程進学、東金市役所、香取市役所、千葉県社会福祉協議会、東京女子医科大学教員、成田日本語学校教員、公立高等学校教員・常勤講師（千葉県、青森県など）、私立酒田南高等学校教員、城西国際大学教員、職員、株式会社ニトリ、佐川急便株式会社、ディー・エイチ・エル・ジャパン株式会社、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社、株式会社シミズ・ビルライフケア、辰東エレベータ工業株式会社、阪栄株式会社、株式会社日本新華僑通信社、株式会社オーエンス、ホテルオークラ東京ベイ、ZASA株式会社、株式会社GPC Japan、株式会社フランクジャパン、北京中慎重印集团有限公司（翻訳業）、カモメツーリスト株式会社、裏千家茶道学園進学 等

修了生の声 Alumni

英語教師として充実した日々を過ごしています

JIUの国際交流学科で英語を中心に学び、国際文化専攻に進学して英語科（中・高）の教員免許を取得しました。修士論文は、アメリカのコメディテレビドラマの字幕を用いて、英語の笑いのポイントを日本語に翻訳する際の種々の方略を研究しました。念願の英語教師になることができ、充実した毎日を過ごしています。

石橋 亮太さん

2018年3月 国際文化専攻修了
千葉学芸高等学校勤務

大学院での経験を糧に、日本語教師に

比較文化ゼミで杉本鏡子の“A Daughter of the Samurai”とその日本語訳「武士の娘」を比較研究しました。大学院には様々な院生がありますが、人文科学研究科の国際文化専攻は特に外国人留学生が多く、知見だけではなく視野も広がりました。そうした経験を糧に、いまは日本語学校で日本語を教えています。

溝口 敦子さん

2017年3月 国際文化専攻修了
成田日本語学校勤務

※卒業単位数を満たすためには、東京紀尾井町
キャンパスでも授業を受講して頂く必要が
あります。

ジェンダーの視点から 文化と社会を研究します

教育研究上の目的

人文科学研究科は、国際的かつ学際的視野と異文化理解力、コミュニケーション能力を有し、国際社会で活躍できる高度な専門的職業人や、研究者及び教育者を養成する。

女性学専攻は、地球的で学際的な広い視野に立ち、国際社会に生きる高度の専門的職業人と、地球的協働及び男女協業に参画する人材を養成する。

学位授与方針

(ディプロマポリシー)

人文科学研究科女性学専攻は、所定の単位を取得して学位論文審査に合格し、かつ以下に該当すると判断した場合に、修士(女性学)の学位を授与します。

▶女性学及びジェンダー研究に係る専門的知識を習得し、活用することができる。

▶人文科学、社会科学の諸分野における女性学、ジェンダー論の視点や研究方法を理解し、女性学及びジェンダー研究において、国際的かつ学際的視野と高度な研究方法によって自ら設定した課題について探究することができる。

▶ジェンダー研究の成果をもって、ジェンダー平等社会の実現に向けて、国際社会における、性差別の実態を正確に把握し、その撤廃に取り組むことができる。

▶専門とする分野の必要に応じて、一つ以上の外国語によって、専門的な内容を話し、聞き、書き、読むことができるとともに、ジェンダー平等社会の実現を推進する視野と実行力を修得し、各職業領域において、多様な立場の人々が共に生きやすい社会の実現に貢献することができる。

教育課程編成・実施方針

(カリキュラムポリシー)

人文科学研究科女性学専攻では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、世界で通用する女性学・ジェンダー研究者、及び高度の専門性を修得した職業人を養成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム(教育課程)を編成します。

▶女性学、ジェンダー研究の基礎及び関連領域を学び、専門とする領域の視点から、幅広い情報を的確に分析できる能力を養成するため、基礎論、専門科目、特別講義の科目群を設置する。

▶一貫した指導体制あるいは複数の教員による指導体制の下で、より高度で専門的な知識を学び、その過程で批判的・論理的思考力、課題探究力、問題解決力、批判的かつ創造的思考力を修得し、研究成果として修士論文を作成するため、少人数制の参加型授業である演習科目を設置する。

▶現実社会の問題に適切に対処できる実践的能力を育成するため、国内・海外インターンシップの科目を設置する。

▶研究に必要な資料や文献を読解する力を高めるため、資料講読及び文献講読の科目を設置する。

▶国際的な情報交流、情報分析を行うため、英語による論文作成法及び口頭発表法の科目を設置する。

▶日本語非母語話者を対象に、日本語コミュニケーション科目を設置する。

▶アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び大学院生としての成長に伴う達成度を測定、評価する。

入学者受入れ方針

(アドミッション・ポリシー)

女性学専攻(修士課程)

1.知識・理解

▶人文科学・社会科学の専門的な内容及び方法について、学士課程修了相当の基礎的な知識を有している人

2.技術

▶女性学・ジェンダー研究の分野において自ら研究課題を設定することができる人

▶自らの研究テーマや内容を、口頭表現や文章表現で的確に伝えられる人

3.態度・志向性

▶ジェンダーと人権に係る諸問題に関心を持っている人

▶ジェンダー平等社会の実現に向けて、具体的な問題意識を有している人

教員紹介／研究領域 Professors

教授

魚住 明代 UOZUMI Akiyo

家族社会学、ジェンダー研究

教授

遠藤 恵子 ENDO Keiko

社会学、ジェンダー研究

准教授

Tricia Abigail S.Fermin

ジェンダーとセクシュアリティの社会学

教授

吉城寺 尚子 KICHIJOUJI Naoko

美術史、表象文化研究

教授

川野 有佳 KAWANO Yuka

開発学、地域研究、ジェンダー研究

特色 Features

■ いま 現在を考える女性学・ジェンダー研究

女性学・ジェンダー研究は、20世紀後半に成立した学問です。「男性」「女性」のあり方に疑問の声を発したフェミニズムに始まり、現代の女性学は、広く社会の中でのジェンダーのあり方や、そこから生じるさまざまな現象や問題を研究しています。伝統的な学問が対象としてきた研究領域から私たちの日常生活まで、ジェンダーを軸として学際的・比較文化的に捉え直すこと、これは国境を越えた学問の潮流として、今後一層の発展が期待されます。

■ 日本で最初の女性学専攻修士課程

JIUの女性学専攻は、日本で最初の女性学修士号の学位を授与する大学院として、1996年に開設しました。カリキュラムは充実しており、女性学の基礎から専門的な内容まで十分に学べるよう工夫されています。

■ 女性学インターンシップ

各種機関で実地研修することを通じて、理論や知識を実践的に応用するために「女性学インターンシップ」(選択科目)を設置しています。一定期間実務に携わることで、活動の意義を理解します。コロナ禍ではインターンシップに制約が設けられていましたが、2023年度より再開しました。海外インターンシップでは、国連女性の地位委員会NGO会議において、日本のNGOメンバーとして活動します。事前勉強会で、学外の活動家と交流を深めて問題意識を鮮明にします。



学位論文優秀賞を授与



ジェンダー研究の授業



女性学インターンシップで訪れた国連CSW



修士論文中間発表会

修了後の進路 Post-graduation Careers

女性学専攻修了者は、本学大学院比較文化専攻(博士後期課程)に進んで比較文化・ジェンダー論の研究を深め、博士(比較文化)の学位取得を目指すことができます。また、女性学・ジェンダー研究に関する高度な知識と語学力を身につけ、女性学関係の教育・研究機関、国際機関、各種NGO、地方自治体、マスコミ、出版、企業の海外部門、教員など、多様な進路が期待できます。

■ 修了者の進路先実績

【進学】城西国際大学大学院博士後期課程進学、留学(アメリカ・ドイツ) 【専門職】盛岡市女性センター、千葉市女性センター、葛飾区女性センター、地方公務員 【教育機関】静岡県立高等学校教員、国際医療福祉大学教員、神奈川県立衛生短期大学教員、中央大学教員、明星日本語学院、中国社会科学研究院研究員、中国華南師範大学教員、国立青少年スポーツセンター、城西国際大学教員、職員 【NPO・NGO・国際機関】ユネスコ東京事務所、女性の家ヘルプ、ブリッジ・エーシア・ジャパン(NGO)、社会福祉法人礼拝会ミカエラ寮(日本初のシェルター) 【出版・一般企業ほか】思潮社、株式会社明石書店、共立印刷株式会社、南総通運株式会社、勝美印刷株式会社、中央出版株式会社、中本バックス株式会社 等

修了生の声 Alumni

女性学を学んでIT業界に

私は、大学院在籍中に就職が決まったので中退をしました。が、研究を諦めることができず、再入学しました。大学院では先生や仲間との濃い議論ができて知見が広がり、中国のDV被害者支援をテーマとする論文を書きました。今は日本のIT企業で働いています。IT業界を始め、多くの業界にジェンダー格差の問題がありますが、幅広く女性が参入して力を発揮することで、いずれ格差は解消できると信じています。

万 蘇婷さん

2022年3月 女性学専攻修了



コロナ禍の学業

学部生の頃に「芸術における女性の描かれ方」に疑問を抱き、知識を深めたいと思って女性学専攻に進学しました。丁度コロナ禍で、対面授業ができない時期でしたが、オンライン授業の体制が整っており、インターネットを通じて修論に必要な資料を収集する方法を丁寧に教えて頂きました。また他専攻の院生と合同のクラスでは、教育・経済・文学などの幅広い領域から女性が直面する問題や性差別の歴史を学び、充実した2年間を過ごしました。

鈴木 萌さん

2022年3月 女性学専攻修了



Graduate School of Humanities

人文科学研究科

グローバルコミュニケーション専攻

〔修士課程〕

高い異文化コミュニケーション能力を有した
グローバル専門職業人を育成します

千葉東金
キャンパス

東京紀尾井町
キャンパス

社会人1年修了コースあり

英語だけで修士号が取得できるAll Englishコースあり

教育研究上の目的

人文科学研究科は、国際的かつ学際的視野と異文化理解力、コミュニケーション能力を有し、国際社会で活躍できる高度な専門的職業人や、研究者及び教育者を養成する。
グローバルコミュニケーション専攻は、国際人としての態度と豊かな教養及び異文化理解力を基盤とし、言語の習得や運用に係る専門知識と実践能力を備えた人材を養成する。

学位授与方針

(ディプロマ・ポリシー)

人文科学研究科グローバルコミュニケーション専攻は、所定の単位を取得して学位論文審査に合格し、かつ以下に該当すると判断した場合に、修士(国際文化)(Master of Arts in Global Communication)の学位を授与します。

▶日本語教育、翻訳通訳、TESOLのいずれかの分野において、体系的知識を習得し活用することができる。

▶言語、言語教育、翻訳・通訳に関する研究方法を理解し、日本語教育、翻訳通訳、TESOLのいずれかを軸に、国際的かつ学際的視野に基づく研究方法によって、自ら設定した課題について探究することができる。

▶グローバル社会におけるより良き社会のあり方と発展を考察するとともに、国際社会とその動向に目を向け、自文化と他文化に係る深い理解に基づく視点を持って専門的な知を追究することができる。

▶専門とする分野の必要に応じて、修得した高度な語学力を十分に発揮できるとともに、社会の様々な場面において、高度な異文化理解能力とコミュニケーション能力を発揮し、課題解決に貢献することができる。

教育課程編成・実施方針

(カリキュラム・ポリシー)

人文科学研究科グローバルコミュニケーション専攻では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、グローバル社会で活躍できる専門性を修得した教養人・職業人を養成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム(教育課程)を編成します。

▶研究ないし課題テーマを探索する能力を修得するため、分野共通必修の「基礎論」科目を設置する。

▶グローバル社会を理解するための豊かな教養を修得し、専門とする領域の基礎と関連領域を学ぶため、「専門共通」科目を設置する。

▶専門的な知識を体系的に学ぶため、「分野別」の専門科目を設置する。

▶一貫した指導体制の下で、より高度で専門的な知識を学び、その過程で批判的・論理的思考力、課題探究力、問題解決力、コミュニケーション能力を修得し、研究成果として修士論文あるいは課題研究報告書を作成するため、少数人参加型の「演習」科目を設置する。

▶修得した知識・技能を実践するためにも、インターンシップ、実習・研修を行う科目を設置する。

▶研究に必要な資料や外国語文献を読解する力を高めるため、「文献講読」科目を設置する。

▶主体的なキャリア形成を促進するためにも、他の分野・専攻・研究科における開講科目の履修を奨励し単位認定する。

▶アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び大学院生としての成長に伴う達成度を測定、評価する。

入学者受入れ方針

(アドミッション・ポリシー)

グローバルコミュニケーション専攻(修士課程)

1.知識・理解

▶言語学、言語教育学、翻訳通訳研究について学士課程修了相当の基礎的な知識を有している人

2.技術

▶専攻しようとする分野に関係する言語について、研究や技能習得が十分におこなえる程度の運用能力を有している人

▶「日本語教育」「翻訳」「通訳」「TESOL」の分野において自ら研究課題を設定し、研究計画を立てることができる人

▶自らの研究テーマや内容を、口頭表現や文章表現で的確に伝えられる人

3.態度・志向性

▶グローバル社会のより良い発展について主体的に考え、そのような社会に適応し、貢献できる人材になりたいと希望している人

▶異文化を理解する能力を養い、多文化共生社会で貢献し、活躍したいと望んでいる人

▶言語の普遍性や多様性など、母語に限定されない言語の幅広い知識を身につけ、豊かな言語生活を築きたいと考えている人

▶コミュニケーションに含まれる多様な要素について関心を持ち、理解を深めたいと考えている人

▶より高度な語学力とコミュニケーション力を、実践を通して習得し、それを活かせる職業に就きたいと考えている人

▶日本語教員、翻訳者・通訳者、英語教員など、言語に関する専門知識と応用言語学的知識(言語教育や翻訳・通訳などの知識)が必要とされる専門職を目指している人

教員紹介／研究領域 Professors

学部長／教授

Maria S. Ichiyama

Curriculum development

教授

宮 偉 GONG,WEI

言語文化、日中翻訳

教授

林 千賀 HAYASHI Chiga

中間言語語用論、日本語教育、異文化コミュニケーション

教授

高木 美嘉 TAKAGI Miyoshi

日本語教育学

教授

塩出 浩和 SHIODE Hirokazu

地域研究(華南)

客員教授

田 原 TIAN,YUAN

現代詩翻訳と研究

教授

板井 美佐 ITAI Misa

言語学、特に第二言語習得、日本語教育

教授

尾本 康裕 OMOTO Yasuhiro

日本語教育学、第二言語習得研究、ICT教育

教授

Timothy J. Woolstencroft

Teaching methodology and materials design

准教授

李 穎清 LI,YINGQING

日中対照言語学、日中翻訳

准教授

王 岩 WANG,YAN

比較文化、通訳翻訳研究

准教授

Brett Collins

Psycholinguistics and research methods (quantitative)

准教授

萩原 幸司 HAGIHARA Koji

言語学、日本語学、日本語教育学

助教

鈴木 一徳 SUZUKI Kazunori

第二言語習得研究(言語学アプローチ)、心理言語学、応用言語学、日本語教育

特 色 Features

グローバルコミュニケーション専攻が研究対象とする中心的な学問分野

■ 日本語教育分野(東京紀尾井町キャンパス)

日本語学と日本語教育、第二言語習得の理論や概念を学び、それらが授業でどのように生かされているのか、自分がどのように実践したらいいのかを考えます。また、授業は演習を中心とした形式で行い、日本語教育の現場で教育実践をデザインする力を養成します。

■ 翻訳・通訳分野(東京紀尾井町キャンパス)

言語文化、異文化コミュニケーション、翻訳・通訳の理論と方法等を幅広く学び、日中の翻訳及び通訳に関する技能を習得し、実践によりその力を伸ばします。また、その実践を通して得た問題意識を研究につなげ、翻訳や通訳をする際のさまざまな課題に関する研究を行います。

■ TESOL分野(千葉東金キャンパス)

The Teaching English to Speakers of Other Languages (TESOL) program is designed around current theories and applications of language learning and inter-cultural communication, with courses focusing on foundations of language teaching, linguistics, and curriculum and materials development. In addition, students learn transferable skills, which are essential in the modern global workplace, such as research methods, learner acquisition theory, and teaching methodology. Guidance in academic writing is supported throughout the program with specific courses and individualized advising. Finally, students create portfolios to record and show work completed, and gain practical teaching experiences in a variety of class situations.

■ 実習・インターンシップ

さらに実践的な訓練を希望する学生は、実習やインターンシップの科目を履修することもできます。

◆ 日本語教育分野:アメリカ、中国、ノルウェー、ハンガリーなどの海外協定校や本学内の日本語クラスにおいて実習インターンシップを行います。

◆ 翻訳通訳分野:国内の翻訳会社や本学内にて実習インターンシップをおこないます。

◆ TESOL:本学内や学校教育現場にて実習インターンシップをおこないます。



TESOLの授業



研究発表会



ハンガリーの姉妹大学での日本語教授インターンシップ

修了生の声 Alumni

日本語教育分野での学びをいかして 日本語教師に

マレーシアの大学で日本語教師をしています。授業を組み立て、行う際に大学院在学中に習得した知識やインターンシップでの実践経験が役立っています。授業やイベントを通して、より多くの学生に日本語・日本文化を知ってもらうため日々、努めています。

林 澤奈さん

2015年3月 グローバルコミュニケーション専攻修了
Management and Science University(マレーシア) 日本語教師



TESOLコースで学び、英語教師として キャリアアップ

東京にあるインターナショナルスクールで英語教師として働いていましたが、英語教授法についてもっと深く学びたいと思い、大学院に入りました。研究とは何かを学び、大変貴重な知識と経験を得ることができました。

山本 エメリンさん

2018年3月 グローバルコミュニケーション専攻修了
児童英語教師



翻訳通訳分野で学び、プロの通訳者として キャリアをスタート

大学院で、「通訳者の主体性」に基づく医療通訳の訳出方略について研究し、通訳という仕事に魅力を感じました。現在は都内の通訳会社で日中通訳を担当しています。通訳は、言葉を通じて人々をつなぐ素晴らしい仕事であり、大きなやりがいを感じています。今後も、通訳のプロフェッショナルとして自己研鑽を積み、クライアントのニーズに合わせた高品質なサービスを提供していきたいと考えています。

尤 彩雲さん

2023年3月 グローバルコミュニケーション専攻修了
日中通訳者



国際社会の中での学術発展並びに
国際協働に貢献できる比較文化的
価値観を有した人材を育成します

教育研究上の目的

人文科学研究科は、国際的かつ学際的視野と異文化理解力、コミュニケーション能力を有し、国際社会で活躍できる高度な専門職業人や、研究者及び教育者を養成する。
比較文化専攻は、地域的・民族の文化に係る体系的で緻密な知識と冷静で的確な判断力及び比較文化的考察力を有し、併せて国際的・地球的な視野に立ち、国際社会の中での日本の学術の発展並びに国際的協働に貢献できる人材を養成する。

学位授与方針

(ディプロマ・ポリシー)

人文科学研究科比較文化専攻は、所定の単位を取得して学位論文審査に合格し、かつ以下に該当すると判断した場合に、博士(比較文化)の学位を授与します。
▶比較文化論、比較ジェンダー論、国際日本学のいずれかの学問領域において、緻密で体系的知識を習得し活用することができる。
▶文献読解能力、批評能力、課題発見能力、情報収集能力、分析考察能力、論理的文章作成能力、口頭発表能力など、高度な研究能力を用いて自立した研究活動を行うことができる。
▶専門とする分野から隣接諸学に視野を広げ、研究成果をグローバル社会の発展に活かすことができる。
▶比較文化の視点に基づく研究実績を持ち、国際社会において日本の学術の発展並びに国際的協働に貢献することができる。

教育課程編成・実施方針

(カリキュラム・ポリシー)

人文科学研究科比較文化専攻では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、比較文化研究の成果をグローバル社会に還元できる専門職業人や、研究者、教育者を養成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム(教育課程)を編成します。
▶複数の教員による一貫した指導体制の下で、研究活動を活発に遂行し、集大成として博士論文を作成するため、比較文化、比較ジェンダー論、国際日本学のいずれかの分野を軸とする研究指導科目を設置する。
▶研究水準として求められる専門基礎知識や研究方法、論文執筆要領を確認するため、共通基盤科目を設置する。
▶各分野においてより専門的で高度な知識を習得し、理解を深めるため、日本文学、日本語学、日本語教育学、地域文化研究、ジェンダー論に係る科目から構成する研究特論科目を設置する。
▶国際的に活躍する日本発の高度専門職業人育成のため、実践科目として上級日本語教授法を設置する。
▶アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び大学院生としての成長に伴う達成度を測定、評価する。

入学者受入れ方針

(アドミッション・ポリシー)

比較文化専攻(博士後期課程)

- 1.知識・理解
▶比較文化研究、ジェンダー研究、日本文化研究に関して、修士課程修了相当の知識と理解を有している人
- 2.技術
▶人文科学の諸領域に関して、修士課程レベルの研究・発表能力を習得している人
- 3.態度・志向性
▶グローバル社会との関係性において人文科学の諸領域を捉え、探究しようとしている人



博士号取得者と指導教員一同



博士論文公开发表

修了生の声 Alumni

研究を続けながら社会と関わりたい

30年あまりIT企業に勤務した私は、自身の経験を客観視したいと思い、女性学専攻に社会人入学しました。退職後は、博士課程で「IT企業における女性雇用施策に関する博士論文」に取り組みました。遅い再スタートでしたが、人生100年時代、今後も研究を続けながら様々な形で社会と関わっていきたくと考えています。

小林 三津子さん
2018年3月 比較文化専攻修了
NGO役員



日本語教育で得た問題意識をもとに

日本語教育に携わるなかで抱いた問題意識に基づき、多義語の意味分析とそれを習得支援につなげる研究を行いました。日々の校務に追われ、研究が思うように進まない時もありましたが、先生方の研究者教育者としての姿勢や様々な御示唆のおかげで、学問と研究に真摯に向き合うことができました。

李 森さん
2018年3月 比較文化専攻修了
大連外国語大学



教員紹介／研究領域 Professors

研究科長／教授

芳賀 浩一 HAGA Koichi

比較文学、
批評理論エコクリティシズム

学長／教授

倉林 真砂斗 KURABAYASHI Masato

東アジア、比較考古学

教授

飯倉 章 IKURA Akira

国際政治

教授

魚住 明代 UOZUMI Akiyo

家族社会学、ジェンダー論、
主な研究対象はドイツ

教授

岡田 美也子 OKADA Miyako

日本文学、
特に中世文学とその周辺

教授

袁 福之 EN Fukuyuki

ビジネスモデル、コミュニティデザイン、
地域情報化、統計モデル

教授

吉田 朋彦 YOSHIDA Tomohiko

言語学、日本語学、
意味論・語用論とその関連領域

教授

林 千賀 HAYASHI Chiga

中間言語語用論、第二言語習得、
異文化コミュニケーション

教授

宮 偉 GONG,WEI

言語文化、日中翻訳

教授

高木 美嘉 TAKAGI Miyoshi

日本語教育学

客員教授

田 原 TIAN,YUAN

現代詩研究

教授

板井 美佐 ITAI Misa

言語学、特に第二言語習得、
日本語教育

教授

渡邊 拓 WATANABE Taku

日本近代文学

准教授

萩原 幸司 HAGIHARA Koji

言語学、日本語学、日本語教育学

准教授

李 穎清 LI,YINGQING

日中対照言語学、日中翻訳

特色 Features

比較文化専攻は「比較文化」「国際日本学」「比較ジェンダー論」の3分野で構成されており、博士後期課程として博士号にふさわしい論文の作成に向けて研究を継続・発展させることを目的としています。

■ 3つの分野

「比較文化」:「日本と中国」や「日本とアメリカ」など、異なる国の文学・文化・歴史のつながりと差異を国際的かつ学際的な視点から研究します。

「国際日本学」:日本語教育や日本文学を先端的な方法論と国際的な視点で研究します。

「比較ジェンダー論」:社会問題をジェンダーの視点から比較文化的・学際的に研究します。



親切丁寧な個別指導



学位授与式

修了までの流れ・プロセス Process

博士号の学位取得には、所定の科目履修による単位取得と博士論文審査合格の二つが必要です。

■ 指導教員・授業

「研究指導」の科目を担当する教員から指導教員を決めます。

論文作成指導の科目「国際日本学研究指導」「比較文化研究指導」「比較ジェンダー論研究指導」からいずれかを選択し、3年間継続して履修します(必修)。また、その他の科目から合計16単位以上履修します。

■ 博士論文作成

指導教員の指導の下で研究を進め、執筆します。

学位の授与までに、「論文作成資格試験(Qualifying Examination)」、「論文作成計画審査(Prospectus)」、「論文審査」と段階を追ってそのすべてに合格しなければなりません。

グローバルな視点とローカルな視点から
経営戦略とマネジメントを学ぶ

教育研究上の目的

経営情報学研究科は、経営学と情報学とを有機的に一体化させ、起業家精神（アントレプレナークシップ）と事業展開力及びマネジメント力を備えた人材を養成する。

起業マネジメント専攻（修士課程）は、グローバルとローカルの複眼的視点にたち、戦略と情報を高度に体系化した経営展開力を有した人材を育成する。中小企業診断士登録養成課程については、中小企業診断士第1次試験合格者を対象に中小企業診断士としての診断スキルと経営指導力を涵養するとともにITとマーケティングに強い診断士を養成する。

学位授与方針
（ディプロマポリシー）

経営情報学研究科起業マネジメント専攻（修士課程）は、以下の要件を満たした者に、「修士（経営学）」の学位を授与する。

- ▶ 広い視野に立って精深な学識を授け、高度の専門性を要する職業等に必要の能力及び専攻分野における研究能力を身につけていること。
- ▶ グローバルとローカルの複眼的視点にたち、戦略と情報を高度に体系化した経営展開力を身につけていること。
- ▶ 本課程に原則として2年以上在籍し、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、本学学位規程に定める修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

教育課程編成・実施方針
（カリキュラムポリシー）

経営情報学研究科起業マネジメント専攻（修士課程）では、教育研究上の目的に基づき、高度の専門性を備えた職業人の育成とともに、研究者としての基礎能力を養成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成する。

- ▶ 演習科目についてはグローバル・マネジメント分野、ローカル・マネジメント分野、マーケティング分野、流通分野、経営情報分野、会計分野、情報分野、スポーツマネジメント分野において演習担当教員により修士論文作成を指導する。
- ▶ 修士課程の基礎的科目として起業マネジメント基礎論を必修科目として設置する。
- ▶ 演習指導と研究能力の涵養を目的として、演習各分野に対応して「起業マネジメント共通科目群」、「起業マネジメント専門科目群」を配置し、専門分野における理論の基礎知識と、ケース研究を通して実務的基礎力を修得する。
- ▶ 大学院修士課程に求められる経営と起業マネジメントの課題理解を深めるための「起業マネジメント特講科目群」を通して、理論に加えて問題意識と課題解決能力の涵養を図る。
- ▶ 上記科目群における所定の単位取得と修士論文作成指導により、「研究計画発表」「研究中間報告」「論文作成計画報告」「修士論文概要発表」を経て論文審査、口述試験に合格により修士論文認定を行う。
- ▶ 中小企業診断士登録養成課程では、経済産業省の認可科目の修得及び所定科目修得報告により中小企業診断士の資格を取得する。同時に、課題研究または特定課題論文によって修士の学位を取得する。

入学者受入れ方針
（アドミッションポリシー）

起業マネジメント専攻（修士課程）

- ▶ 学士号を取得し、経営分野の専門知識に対する強い探究心を有する人
- ▶ 専門知識の修得意欲に加え、自身の将来に強い成長意欲を有する人
- ▶ 高度資格取得に意欲的に取り組む姿勢を有する人
- ▶ 修士論文作成に必要な語学力を有する人
- ▶ 中小企業診断士登録養成課程については、中小企業診断士の第1次試験に合格し、本修士課程において同資格の取得を目指す人



修了生の声 Alumni

母校で経営学博士にチャレンジ

思えば、20年前、私は中国西安から城西国際大学に入学し、留学生生活を始めました。その後、大学院起業マネジメント専攻（修士課程）を修了し、中国産業特区である中関村イノベーション・デモンストレーション・エリアでの就職を果たし、日本駐在代表として社会人の生活がスタートしました。勤務10年後、知識の不足を感じた私は再び母校に戻り、経営学博士に挑戦しました。熱心にご指導を下さった先生方、事務局スタッフのサポートのおかげで、この度、無事に学位を取得することができました。先生方、事務局の皆様には心から御礼を申し上げます。城西国際大学は大好きです。卒業生としての誇りを持ち続けています。



王 洪燕 さん
2006年3月起業マネジメント専攻修士課程修了
2020年9月起業マネジメント専攻博士課程論文博士
北京中関村東京駐在事務所 首席代表

中小企業経営支援の実践力が身につく

大学院（中小企業診断士登録養成課程）において、中小企業の経営支援を行う実践力を身につけることができました。具体的には、中小企業の経営陣をリスベクトして寄り添う姿勢やマインド、企業の本質的な強みを見出し、中長期的な課題設定、その解決策を提示するための視点、思考力、そしてそれを「なるほど」「やってみようか」と思わせるプレゼン／コミュニケーション力を自分なりに身に付けられたと思います。知識やノウハウなどのナレッジはいずれ陳腐化しますが、姿勢・マインド、思考力は今後も持続するものです。そしてそれは、授業内での同期とのグループ討議や、診断実習先でのクライアントとの対話、そして卒業論文に対して、1つ1つに、逃げることなく真摯に向き合い、やり抜くことで得られるものだと思います。



永田 朋之 さん
2021年3月 起業マネジメント専攻 中小企業診断士養成課程修了
企業内でDX推進責任者、大学院講師、中小企業診断士として活動

教員紹介／研究領域 Professors

研究科長／教授 渡邊 修朗 WATANABE Nobuo	財政学、地方財政論
教授 孫根 志華 SONE Shika	中国マクロ経済政策、アジア経済、デジタル経済
教授 七井 誠一郎 NANAI Seichiro	国際マーケティング、国際人的資源管理
教授 龜山 浩文 KAMEYAMA Hirofumi	情報科学
教授 染谷 芳臣 SOMEYA Yoshio	会計学、企業財務論
教授 神余 崇子 KANAMARU Takako	地域経済総合論、国際経済政策
教授 深山 元良 MIYAMA Motoyoshi	スポーツマネジメント、スポーツ科学

教授 国武 陽子 KUNITAKE Yoko	生態学、地域生態系保全
教授 山崎 督 YAMAZAKI Tadashi	経営戦略論、マーケティング戦略論、ブランドマネジメント論、中小企業論
教授 石原 啓次 ISHIHARA Keiji	健康づくり、スポーツ科学
准教授 楊 沢宇 Yo Takuu	企業法、資本市場法
准教授 松田 世治 MATSUDA Seiji	経営戦略論、経営組織論
准教授 新谷 理 SHINTANI Osamu	ファイナンス、財務分析
准教授 鈴木 広人 SUZUKI Hiroto	マーケティング、マーケティング・リサーチ、消費者行動

准教授 斎藤 紀男 SAITO Norio	計算機システム、経営情報論、ソフトウェア工学
准教授 藤居 誠 FUJII Makoto	マーケティング、マーケティング・サイエンス、消費者行動論
准教授 中村 智香 NAKAMURA Chika	薬学、香りにおい
准教授 野津 創太 NOTSU Sota	経営組織論、組織行動論、人的資源管理論
助教 戸田 容平 TODA Yohei	代数幾何学、暗号理論

特 色 Features

■ 起業マネジメント専攻

大学院経営情報学研究科起業マネジメント専攻では、グローバルな視点に重点を置くか、又は地域活性化の視点からローカルに重点を置くかは各自の選択によります。そして、これらの問題解決には、市場創造型のマーケティングと起業マネジメントのイノベーションについて研究し、また、日進月歩のデジタル技術に対応した経営のあり方を追求し研究を進めていく必要があります。これらの要素を踏まえた研究課題については、研究指導教員による丁寧な指導と支援により、修士論文の作成を進めていきます。

■ 中小企業診断士登録養成課程

経済産業省に中小企業診断士登録養成機関として登録され、2011年度から、起業マネジメント専攻（修士課程）に課程を設置しています。本課程は中小企業診断士第1次試験合格者を対象にしたもので、所定の科目を修了することで有資格者として登録できます。都心にある東京紀尾井町キャンパスで、実習を除き授業は土曜日を中心（一部平日夜間）に開講するので、仕事を続けながら受講しやすい環境を整えています。また、現代の企業経営に必要なとなるITの活用を提案できる診断士となるための「ITコーディネータ」の資格を目指すことも可能です。

— 城西国際大学の目指す中小企業診断士 —

- ◎ 先端的な中小企業のニーズに的確に応え得る高度の専門的な知識を持つ診断士
- ◎ 研ぎ澄ました現場感覚を持ち、グローバルな視点から経営者に適切に助言ができる有能な経営コンサルタントとしての能力を持つ診断士
- ◎ 経営者から信頼される、経営者の悩みを的確に受け止められる、そしてその課題に応えられる人間味のあふれた診断士

修了後の進路 Post-graduation Careers

地域に立脚した独立起業家、及び世界各地において、地域の発展に貢献できる人材の輩出を目指しています。企業を支援する銀行、証券、保険会社、ベンチャーキャピタルおよび行政の専門スタッフ、また多国籍企業の国際ビジネス担当マネージャーや戦略スタッフ、さらにコンサルティング企業やシンクタンクなどにおいて活躍が期待されます。

■ 修了者の進路先

中国建設銀行、北京中関村東京駐在事務所、近鉄エキスプレス、中国銀行、株式会社ジュビターテレコム、IBM、株式会社ホームロジスティクス、株式会社C&Fロジホールディングス、NTT関連企業、都市銀行、地方銀行、大手商社、コンサルティング会社 等



起業マネジメント研究・演習の授業風景



大学院入学式



中小企業診断士登録養成課程授業風景

高度の専門性を備えた職業人・
研究者の養成を目指します

教育研究上の目的

経営情報学研究科は、経営学と情報学とを有機的に一体化させ、起業家精神（アントレプレナーシップ）と事業展開力及びマネジメント力を備えた人材を養成する。

起業マネジメント専攻（博士後期課程）は、高度な専門職業人と、国内外の教育研究機関で教育・研究活動が展開できる人材を養成する。

学位授与の方針
(ディプロマポリシー)

経営情報学研究科起業マネジメント専攻（博士後期課程）は、以下の要件を満たした者に、「博士（経営学）」の学位を授与する。

▶専攻分野において研究者として自立し、研究活動をおこなうために必要な高度の研究能力と併せて、社会の多様な方面で活躍し得る高度の能力と豊かな学識を身につけていること。

▶高度な専門職業人としての能力、国内外の教育研

教育課程編成・実施方針
(カリキュラムポリシー)

経営情報学研究科起業マネジメント専攻（博士後期課程）では、教育研究上の目的に基づき、高度の専門職業人と専門研究者を養成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成する。

▶グローバル・マネジメント分野、ローカル・マネジメント分野、マーケティング分野、会 計・ファイナンス分野、経営情報分野における研究指導をおこなう。

▶研究活動に関連する基本学識を修得するために特別講義の科目を配置する。

▶博士後期課程における所定の単位修得後、本学学位規程に則り資格試験、論文作成計画審査、博士論文審査に合格し、博士の学位を取得する。

入学者受入れ方針
(アドミッションポリシー)

起業マネジメント専攻（博士後期課程）

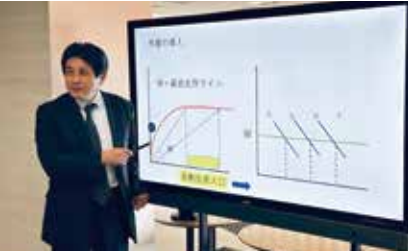
▶修士の学位を取得し、更なる専門知識に対する探究心を有する人

▶修士論文において研究活動に必要な基本能力を確認できる人

▶学位論文作成に必要な語学力を有する人

▶研究者として強い成長意欲を有する人

▶高度な専門職業人を目指し専門分野における能力向上意欲を有する人



教員紹介／研究領域 Professors

研究科長／教授 渡邊 修朗 WATANABE Nobuo	財政学、地方財政論
教授 孫根 志華 SONE Shika	中国マクロ経済政策、アジア経済、デジタル経済
教授 七井 誠一郎 NANAI Seichiro	国際マーケティング、国際人的資源管理

教授 染谷 芳臣 SOMEYA Yoshio	会計学 企業財務論
教授 亀山 浩文 KAMEYAMA Hirofumi	情報科学
教授 国武 陽子 KUNITAKE Yoko	生態学、地域生態系保全

教授 深山 元良 MIYAMA Motoyoshi	スポーツマネジメント、スポーツ科学
教授 神余 崇子 KANAMARU Takako	地域経済総合論、国際経済政策
准教授 楊 沢宇 YO Takuu	企業法、資本市場法

修了生の声 Alumni

中国高齢者向けの医療福祉研究を開拓していきたい

私は現在、中国遼寧省の瀋陽医科大学医養（医療福祉）健康産業学院で福祉経営の副教授を務めております。主に学部生・大学院生向け高齢者サービス経営と医療健康経営関連の科目を担当しております。現在、世界的規模で高齢化が進行していますが、中国においても高齢化問題が焦眉の急となってきました。城西国際大学で学んだ経験を生かし、高齢者向けの医療と福祉サービスに関する研究を開拓し、高齢者福祉経営に貢献できる研究者になりたいと思っています。



張 景嵐 さん
2023年9月 起業マネジメント専攻（博士課程）修了
中国瀋陽医科大学医療健康産業学院 准教授

特色 Features

起業マネジメント専攻博士後期課程では知識社会への移行に際し、新しい経済社会システムの創造とマネジメントに関する「専門分野についての研究者」の養成を目指します。同時に、ビジョンと起業家精神（アントレプレナーシップ）をもち、リスクを恐れず、継続的にイノベーションを遂行し、複雑なシステムとしての知識経済社会の創造とマネジメントに関する「高度に専門的な業務に従事」する人材を養成します。

カリキュラム構成は「高度の研究能力をおよびその基礎となる豊かな学識」を養うために修士課程を基礎として、さらに高度化・専門化しながら新たな創造領域を切り開いていきます。

博士後期課程では「研究指導」を最重要科目として配置し、博士論文作成のため、在學生は3年間にわたり、主たる指導教員1人のほか2人の指導教員を加えた教授陣のもとで研究を進めます。在學生は研究計画をもとに、研究中間発表での発表や年次研究計画書の提出を重ねて、博士の学位をめざします。

研究指導科目は、経済社会のシステムのパラダイム転換にともなう新しい経営のベースとなる理論と手法の研究が主要分野です。主として起業マネジメント専攻修士課程における8つの研究・演習科目を基礎に、知識社会の経営の理論的基礎の確立という観点からその先端的領域を強化・再編成して、グローバル・マネジメント分野、ローカル・マネジメント分野、マーケティング分野、会計・ファイナンス分野、経営情報分野という5つの研究領域を設定しています。これらの研究領域への取組により、新時代の研究者、高度に専門的な業務に従事できる人材の養成を図ります。

博士後期課程と修士課程の教育課程の関係図



修了後の進路 Post-graduation Careers

本専攻修了者は、学問的にも実践的にも新しい領域を切り開くため、大学・研究機関・シンクタンクなどの研究・教育機関・公益法人・各協会などの研究者、教育者として活躍することが期待されます。

そのほか、数多くのベンチャー支援機関のスタッフなど修了者への門戸は開かれています。また、社会人学生修了者は、もとの職域にとどまり、より高度な専門性を持った業務を担当することも期待されます。

学際的視野から福祉・生活問題を研究し、福祉社会の構築に寄与する福祉専門職、福祉教育・研究者、およびそれらの資質を備えた社会人を育成します。

教育研究上の目的

福祉総合学研究科は、福祉社会の構築に係わる理論と実践を学際的視点から研究・教授し、福祉社会の実現と文化の進展に寄与し、その創造に資する知識・技術と実践力をもつ専門職業人、福祉専門職及び教育・研究者を養成する。

学位授与方針

(ディプロマ・ポリシー)

福祉総合学研究科福祉社会専攻は、所定の単位を取得して学位論文審査に合格し、かつ以下に該当すると判断した場合に、修士(福祉社会)の学位を授与します。

- ▶社会で求められる倫理観と研究能力を修得し、誰もが心身ともに豊かに生活できる福祉社会の創造と実現に貢献することができる。
- ▶研究と実践の双方において社会に貢献できる能力を修得し、福祉社会の課題に学際的に取り組むことができる。
- ▶社会福祉の理論と政策、ソーシャルワーク、福祉経営などの実践的専門分野を徹底して学び、各々の分野でリーダーとして、対人援助及び社会活動を展開することができる。

教育課程編成・実施方針

(カリキュラム・ポリシー)

福祉総合学研究科福祉社会専攻では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、福祉社会の創造と実現に指導的役割を果たす福祉人材及び教育・研究に携わる人材を養成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム(教育課程)を編成する。

- ▶福祉社会に関する研究を遂行する前提として、福祉哲学、科学的思考の方法、文献の読み方、社会調査の方法を習得するため、必修の基礎論科目を設置する。
- ▶福祉社会研究の基礎となる知識、とくに社会福祉の理論と政策、ソーシャルワーク、福祉経営に関する視点と遂行力を修得するため、特論科目を設置する。
- ▶福祉社会に係る研究成果として修士論文を作成するため、演習科目を設置する。
- ▶現在の福祉を再考し、QOLと自己実現が保障される福祉社会を研究・考察するため、最先端のトピックを取り入れた特別講義科目を設置する。
- ▶アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び大学院生としての成長に伴う達成度を測定、評価する。

入学者受入れ方針

(アドミッション・ポリシー)

- ▶社会福祉または近接領域等における学び、あるいは福祉に係る関わる実務体験等を経て、福祉社会を創造することの必要性を認識し、その実現に資する研究に取り組む意欲をもつ人
- ▶異なる文化や価値観、多様な人々のライフスタイルを理解し、共感できる広い視野と柔軟性を備えた人
- ▶本研究科での学びを強く希望し、福祉を広い視野から再考し、新たに構築するための専門性や実践力、研究能力を身に付けたい人



修了生の声 Alumni

助け合い、尊重することが一番の真髄

中国の東北師範大学人文学院を卒業し、福祉総合学研究科で中国の福祉について精一杯研究しました。先生方の温かいご指導のおかげで、社会調査法や修士論文の作成方法も身につけ、更に海外研修に参加して、グローバルな視野を拓きました。お互いに助け合い、尊重することは、大学院生活で学んだ一番の真髄だと思います。

索 宏さん
2016年3月 福祉社会専攻修士
中国長春人文学院 社会福祉学部 講師



大学院で学ぶことで目標が明確になりました

大学院における高度で専門的な学びや、先生方の関わり、温かいご指導のおかげで、真剣に向き合い、理解を深めることができました。卒業後は、専門学校の講師への就職を経て、大学に移り、現在は教員として教壇に立つ傍ら、障がい者支援にも携わっております。大学院での生活は、その後の私の人生に大きな影響を及ぼす、貴重な時間となりました。

岡田 圭祐さん
2004年3月 福祉社会専攻修士
浦和大学 社会学部 総合福祉学科 講師



各分野のスペシャリストに多くを学びました

各分野のスペシャリストである先生方に巡り合えたことが今となっては私の大きな財産となっています。インターンシップで学部生とともに福祉文化環境研修(海外)でオーストラリア研修に参加したり、JIUならではのカリキュラムの中で時間を無駄にすることなく濃密な学生生活を送らせていただきました。

田中 孝明さん
2009年3月 福祉社会専攻修士
社会福祉法人 千葉県社会福祉協議会勤務



教員紹介／研究領域 Professors

研究科長／教授 清水 正美 SHIMIZU Masami	社会福祉学、福祉制度・政策	教授 林 和歌子 HAYASHI Wakako	社会福祉学、高齢者ソーシャルワーク	准教授 安田 孝 YASUDA Takashi	社会調査、教育心理学
教授 岩田 泉 IWATA Izumi	臨床心理学、教育心理学	教授 広瀬 美和 HIROSE Miwa	発達心理学、幼児教育学	助教 馬場 康徳 BABA Yasunori	社会福祉学、地域福祉・居住福祉
教授 小川 智子 OGAWA Tomoko	社会福祉学、社会福祉援助技術教育	教授 堀 千鶴子 HORI Chizuko	社会福祉学、女性福祉	助教 茆 海燕 MAO, HAIYAN	社会福祉学、日中高齢者福祉
教授 佐野 智子 SANO Tomoko	臨床心理学、聴覚心理学	教授 増子 勝義 MASUKO Katsuyoshi	福祉社会学、家庭社会学	助教 綿貫 文野 WATANUKI Fumino	保育学、子育て支援・保育園経営
教授 所 貞之 TOKORO Sadayuki	社会福祉学、子ども家庭福祉	准教授 森山 拓也 MORIYAMA Takuya	社会福祉学、精神保健福祉		

特色 Features

福祉社会専攻では、基礎論における福祉の最新の研究法、社会調査法の習得を基礎に、高齢・障がい者福祉研究、子ども・家庭福祉研究、保健医療福祉研究の各学問領域を選択して、それぞれのテーマ、問題意識について深く研究することが可能です。

また、女性学、生命科学、共生社会学などの他の学問分野、および国際高齢者福祉論、国際児童福祉論、国際医療保健論などのグローバルな視点から福祉を捉え直し、インクルージョンを前提とした真の福祉社会を構築するには、どのような社会問題を解決し、どう個人のバラダイム転換を図るかなど、福祉学の新たなミッションを意識した研究を進めることが可能です。

■ 高齢・障がい者福祉研究領域

認知症のケア、高齢者の孤独死、高齢者・障がい者虐待、貧困、排除・偏見などの高齢者、障がい者を取り巻くこれらの問題は、世界に共通した、早急に取り組まなければならない課題です。本研究領域では、高齢・障害者ソーシャルワーク論を中心にしながら、これらの課題を研究し、さらに加齢学、施設経営、社会起業、国際高齢者福祉などを学びます。

■ 子ども・家庭福祉研究領域

少子社会における子ども・子育て問題は、マルチトリートメントとしての虐待や保育問題、現代における家族のあり方や家族政策にも関連する問題です。また、障がいを持つ子どもの養育や保育、および特別支援教育は、国際的視野においてノーマライゼーションをどう具体的に実現していくかという前提の上に研究が進められる必要があります。本研究領域では、ファミリーソーシャルワーク論を中心に、障がい児保育、発達障がい支援、家族社会学、国際児童福祉などを学び、特に保育や障がい児支援について実証的に研究を進める方法論を学びます。

■ 保健・医療福祉研究領域

保健・医療の問題を福祉の視点からアプローチし、医学モデルと社会モデルの統合を目指す新しい研究領域です。特に、難病の方々の福祉的ケア、精神障害者の社会復帰、人の死とターミナルな場面における個人と家族の心のケアなど新しい理論と実践を研究します。本研究領域では、医療ソーシャルワーク論を中心に、精神保健福祉と権利擁護、病院マネジメント、国際保健医療などを学び、医療と福祉をどう結び付け、人々のニーズに合わせた、より人間的な保健・医療福祉のあり方を考えます。

修了後の進路 Post-graduation Careers

■ 修了者の進路先実績

城西国際大学教員、浦和大学教員、千葉敬愛短期大学教員、京葉介護福祉専門学校、千葉県児童相談所、千葉県社会福祉協議会、鶴岡市社会福祉協議会等。留学生は帰国後、大学教員、公務員、福祉関連企業 等で活躍しています。

学ぶことは生きることを豊かにすること

25歳から介護事業を経営しながら、里親になりたいというのが当初の目標でした。大学では心理学、実務は介護、学びたいのは児童福祉。そこで調べていると、近所にある城西国際大学大学院が学びの場に最適でした。修士論文ではケアにおけるレジリエンスの存在について研究をしました。ケアの最前線を歩む方達へのインタビューを通して、自身の事業にも生かせる貴重な経験ができました。修了後は、いったん事業に戻り、今後は博士号に挑戦する予定です。学ぶことは生きることを豊かにすることだと、深く理解できる学生生活でした。

今西 航地さん
2023年3月 福祉社会専攻修士
株式会社コイノニア(住宅型有料老人ホーム等介護福祉事業)代表



誰でも過ごしやすい社会づくりを

少子高齢化に伴い、「老い」は誰でも避けられない課題であると考え、福祉総合学研究科に進学しました。この2年間の学びを通じて、私自身の価値観が大きく変わり、国際的な視野も広げることができました。修士論文では、介護業界の人手不足と労働条件の改善のために、介護人材の拡大と専門性の両立について研究しました。指導の先生方には、適切な意見や熱い指導をいただき充実した2年間でした。修了後はバリアフリー居住環境を提供している企業に就職しました。大学院で学んだ福祉社会の知識を身につけて、誰でも過ごしやすい社会づくりを努めます。

楊 開源さん
2023年3月 福祉社会専攻修士
似鳥(ニトリ：中国)投資有限公司



マネジメント・デザイン・表象文化を
総合的に学ぶビジネススクール

教育研究上の目的

ビジネスデザイン研究科は、時代と社会の変化に対応し、ビジネスに係る仮説の探索、論理的な分析と推論及びビジネスモデル構築の能力を持ち、価値創造を実行できる高度な専門職業人を養成する。
また、ICTとデジタルメディアの進化に即して、メディアに係る技術・表現・制作、視覚文化・映像文化・表象文化を学び、クリエイティブ的な職域で活躍できる能力を養成する。

学位授与方針

(ディプロマ・ポリシー)

ビジネスデザイン研究科ビジネスデザイン専攻は、所定の単位を取得して学位論文審査に合格し、かつ以下に該当すると判断した場合に、修士(経営学)の学位を授与します。
▶広い視野と深い学識を持ち、高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力及び専攻分野における研究能力を修得し、活用することができる。
▶高度の専門職業人に必要な知識・能力・倫理観を修得し、活用する事ができる。
▶市場の変化と消費者インサイトを見極め、企業が目指すミッション・ビジョン・バリューに基づきブランディングを実行し、ビジネスコミュニケーションをデザインする事ができる。
▶時代と社会のニーズに応じて価値を創造し新しいビジネスモデルを探索し構築する事ができる。

教育課程編成・実施方針

(カリキュラム・ポリシー)

ビジネスデザイン研究科ビジネスデザイン専攻では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、ビジネスモデル構築に係る能力と、表象文化に係る教養を修得し、様々なメディアを活用して価値創造ができる高度の専門職業人を養成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム(教育課程)を編成します。
▶基本的な研究方法論及び経営学に関する基礎的な知識を習得するため、ビジネスデザイン基礎論科目群を設置する。
▶俯瞰的な視野をもって経営学に係る知識、論理的なフレームワークを学ぶため、マネジメントサイエンス科目群を設置する。
▶ビジネスにおける新しい価値を創造する能力を修得するため、ビジネスコミュニケーション・デザイン科目群、ビジネスモデル・デザイン科目群を設置する。
▶クリエイティブ思考力及びコミュニケーション能力を修得するため、事例研究・表象文化科目群を設置する。
▶ビジネスデザインに係る研究成果として、修士論文あるいは課題研究報告書を作成するため、演習科目を設置する。
▶アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び大学院生としての成長に伴う達成度を測定、評価する。

入学者受入れ方針

(アドミッション・ポリシー)

1.知識・理解
▶今日のPEST(政治Politics、経済Economics、社会Society、技術Technology)に係る基本的な知識を持ち、時代と社会の変化に関心をもつ人
▶今後の社会において、新しいコミュニケーションをデザインし、新しいビジネスモデルを構築する重要性を理解できる人
2.技術
▶ロジカルシンキングによる合理的なコミュニケーション・判断・意思決定ができる人
▶効果的なコミュニケーションを進めるために、メディアに係る表現に関心のある人
3.態度・志向性
▶クリティカル・シンキングを通じて新しい問題を発見し、新しいものの見方を修得したいという知的柔軟性をもっている人
▶社会的課題に関心をもち、ソーシャルイノベーションに係りたい人
▶デザイン思考、仮説思考、シナリオ思考による新しい価値の創造に従事したい人

教員紹介／研究領域 Professors

研究科長／教授
小 洌 究 OBUCHI Kiwamu

会計、マーケティング

教授
袁 福 之 EN Fukuyuki

ビジネスモデル、コミュニティデザイン、
地域情報化、統計モデル

教授
寺 本 卓 史 TERAMOTO Takushi

情報社会論、メディア論、
経営情報論

教授
趙 勝 川 ZHAO, SHENGCHUAN

都市工学、交通計画、交通経済、
モビリティデザイン

教授
大 江 宏 子 OE Hiroko

経済学、コミュニケーション論、
コミュニティデザイン

教授
黄 仙 惠 HWANG, SEONHYE

メディアデザイン、コンテンツビジネス、
エンタテインメントビジネス

准教授
星 野 卓 也 HOSHINO Takuya

エンタテインメント・マネジメント、
コンテンツ・プロデュース

助教
大 絵 晃 世 OE Akiyo

芸術学、博物館学、アーカイブズ学

准教授
滝 口 幸 子 TAKIGUCHI Sachiko

民族音楽学

准教授
吉 岡 美 愛 YOSHIOKA Mie

韓国語教育、
国際関係、日韓比較社会

准教授
于 航 YU HANG

観光地域論、ヘルスツーリズム、
インバウンド観光

特 色 Features

■ ビジネス×デザイン思考で幅広い専門性を身につける

価値観が多様化し問題が複雑化する時代において重要となるのは、マネジメントの基本原則や理論を踏まえつつ、新たに生じている事象に対して分析的・論理的にアプローチすることです。企業活動の本質や社会の構造的課題について理論的成果に基づいて理解を深めるとともに、様々な課題に対する解決策やイノベーションについて多様なステークホルダーの視点を意識して思考することが必要となります。本研究科では、マネジメント分野の基本に立ち返りながら、未来志向型の幅広い専門性を身につけることを目指します。

■ 社会人のための配慮

本研究科は東京紀尾井町にある社会人対応のビジネススクール(MBA)です。
社会人学生を積極的に受け入れ、下記のような配慮をするとともに「社会人特別選抜」を行います。

1. 入学試験での優遇

入学試験では、3年以上の実務経験のある受験者の合格を優先させます。実務経験と学力が一定の水準を満たしている場合、4年制大学卒業でなくとも受験資格を認める場合があります。

2. 修業年限の短縮

下記に示す様々な制度を活用することによって、自身のキャリアプランに合わせて修業年限を1年、1年半、2年と選択することができます。学年末(3月)のほかに、春学期の学期末(8月)にも課程を修了することができます。社会人学生が所期の期間で学業を完成できるよう、履修すべき科目や単位数の調整、修士論文について最大限に配慮します。

3. 実務経験・学習経験と試験による単位認定と受験資格の認定

各科目のカバーする範囲について、既に実務経験または学習経験を有し、十分知識を持っていると判断された場合には、所定の手続きと試験による能力確認により単位を取得できます。社会人学生の研究計画とキャリアプランにしたがって、履修すべき科目を柔軟に調整します。

4. 入学前の履修科目を卒業単位に組み込む

本研究科の開講科目は、科目等履修生として履修することが可能です。また、既に科目等履修生として学んだ学生がその後、本研究科に入学した場合には、科目等履修生として履修した科目の取得単位は、卒業単位に組み入れることができます。

5. すべての科目の授業を東京キャンパスで実施

本研究科のすべての開講科目は、社会人が通学に便利な東京紀尾井町キャンパスで授業を実施します。

6. 平日夜間と土曜日に開講

多くの科目を、平日夜間(17:15~20:55)
及び土曜日(9:05~19:00)に開講しています。

7. 海外への短期留学プログラム

TOEICで所定のスコアをクリアした希望者は、海外協定校への半年間の留学が可能です。

8. 徹底した就職支援

本研究科の修了を契機に、今までとは異なる分野で活躍したいと考える社会人学生に、徹底した就職支援をします。



大学院修了式

修了生の声 Alumni

自分の可能性を広げる価値創造の学び

私は経営学に興味があり、社会人大学院生として入学しました。通学アクセスも良く、土曜日も授業が受けられるので、仕事をしながらでも1年間で修了することができました。ゼミでは社会経験が豊富な先生方が、研究だけでなく転職の面でもサポートしてくださいました。もともと専門分野である情報科学や知的財産に加え、経営学という新たな分野を修得できたことは、教育・研究の仕事に大きく役立っています。「〇〇×ビジネス」という形で自分の可能性を広げるにはオススメの環境です。

野田 佳邦さん

2014年3月 ビジネスデザイン専攻修了
大分県立芸術文化短期大学 情報コミュニケーション学科 准教授
知的財産支援室 次長(弁理士)



知の探究は新しい世界への扉を開く原動力

中国の大学で金融学を専攻し、グローバル化の中で競争できる専門的な知識と語学力を習得することを目的に日本に留学しました。大学院の学びは自ら調べ、自ら考え、新たな知を探究する場所でした。知識の習得はもちろん、新しい価値を創造するビジネスデザインの考え方を学んだことが私の人生にポジティブな影響を与えています。卒業後は、日をつなぐ架け橋になるべく、貿易業界に就職し、営業推進部で勤務をしています。大学院で培った力は、新しい世界への鍵になりました。

葉 紫さん

2019年3月 ビジネスデザイン専攻修了
株式会社フランクジャパン 営業推進部(貿易業)



これからの保健・医療・福祉ニーズを見据え、
実践力と研究力を備えた専門家を養成します

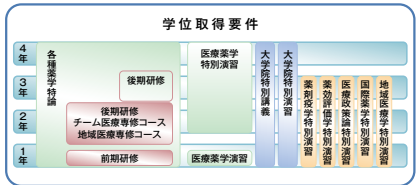
教育研究上の目的

薬学研究科は、高齢化と国際化が進む日本社会における保健・医療・福祉のニーズに応じて、薬物治療に関わる臨床実務の場で活躍できる科学的洞察力や医療薬学領域の問題解決に資する自立した研究力・指導力を有する、次代を担う研究者および指導者を養成する。

学位授与方針

(ディプロマ・ポリシー)

薬学研究科では、建学の精神「学問による人間形成」および教育理念「国際社会で生きる人間としての人格形成」に基づき、薬物治療に関わる臨床実務の場で活躍できる科学的洞察力や医療薬学領域の問題解決に資する自立した研究力・指導力を有する、次代を担う研究者を養成することを目指す。



薬剤師・研究者・指導者となる資質として、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修め、学位論文審査および最終試験に合格した者に対して学位を授与する。

- 幅広い教養と深い専門的な知識・技能・態度および生涯にわたり自己研鑽に励む姿勢に基づき医療薬学領域における研究力を発揮できる能力
- 医療薬学領域において課題を発見し問題を解決する能力
- 科学的洞察力とリーダーシップを発揮し、地域社会・国際社会・企業社会に貢献できる能力

修了生の声 Alumni

社会人でも働きながら博士号取得を目指す大学院

私は高度な知識や研究能力を身に付けて、キャリアアップすることを目指して入学しました。城西国際大学大学院の薬学研究科では、土曜日の集中講義や先生方のフレキシブルな対応により社会人大学院生へのサポートが手厚く、働きながら学修するための環境が整っていました。研究テーマにもよりますが、薬局や病院に勤務する薬剤師の方でも働きながら博士号取得を目指す大学院ですので、キャリアアップを考えている方にはぜひお勧めです。

溝口 優さん
2019年3月 医療薬学専攻修了
城西国際大学薬学部助教



研究者としての原点

私の研究者としての原点は、城西国際大学大学院で過ごした日々にあります。薬学研究科の先生方の熱心かつ丁寧な指導により研究の基礎能力が身につく、雰囲気の良い中で研究に取り組めたことで、心の底から研究を楽しむことができました。現在は城西国際大学薬学部の教員として、学生に研究の素晴らしさや楽しさを伝えています。次代を担う研究マインドを持った薬剤師を育成することが目標です。

大原 厚祐さん
2017年3月 医療薬学専攻修了
城西国際大学薬学部准教授



入学者受入れ方針

(アドミッション・ポリシー)

薬学研究科は、建学の精神「学問による人間形成」および教育理念「国際社会で生きる人間としての人格形成」を理解し、教育方針に共感を示す以下のような人を広く求める。

入学にあたっては、薬剤師の資格は必ずしも必須とせず、これまでの薬学にない領域において確かな基盤の能力を有する人も受け入れる。

- 医療薬学領域において課題を発見し問題を解決する能力
- 6年制薬学部あるいは大学院修士課程修了相当の学力を有し、さらに深化させ、専門知識や技能を向上させるために主体的に取り組むことができる人
- 医療薬学に対し強い探求心や好奇心を有し、課題解決を通して社会の発展に貢献することに価値を見出すことができる人
- 異なる価値観が存在する社会のリーダーとなり、共に生きることや人が成長することに価値を見出すことができる人

教員紹介／研究領域 Professors

研究科長／教授 懸川 友人 KAKEGAWA Tomohito	創製薬学、薬効・安全性学
教授 堀江 俊治 HORIE Shunji	創製薬学、薬理学
教授 田嶋 公人 TASHIMA Kimihito	創製薬学、薬理学
教授 小林 江梨子 KOBAYASHI Eriko	創製薬学、医薬品評価科学
教授 小柳 順一 KOYANAGI Junichi	創製薬学、生物有機化学
教授 秋元 雅之 AKIMOTO Masayuki	医療薬学、薬物動態学
教授 長谷川 哲也 HASEGAWA Tetsuya	医療薬学、薬物動態学
教授 森 健二 MORI Kenji	医療薬学、製剤物理化学

教授 竹内 一成 TAKEUCHI Issei	医療薬学、薬物送達学
特任教授 山村 重雄 YAMAMURA Shigeo	臨床薬学、臨床統計学
教授 新倉 雄一 NIKURA Yuichi	臨床薬学、再生医療学
教授 佐々木 英久 SASAKI Hidehisa	臨床薬学、薬物治療学
教授 光本 篤史 MITSUMOTO Atsushi	生命薬学、毒性学
教授 山崎 研 YAMAZAKI Toru	生命薬学、毒性学
教授 酒井 健介 SAKAI Kensuke	生命薬学、食品機能学
教授 額賀 路嘉 NUKAGA Michiyoshi	生命薬学、構造生物学

准教授 松本 かおり MATSUMOTO Kaori	医療薬理学
准教授 西口 慶一 NISHIGUCHI Yoshikazu	生命薬学、分子細胞生物学
准教授 神谷 貞浩 KAMIYA Sadahiro	生命薬学、分子細胞生物学
准教授 亀井 智代 KAMEI Tomoyo	有機合成化学
准教授 押坂 勇志 OSHIZAKA Takeshi	製剤学・薬剤学
准教授 大原 厚祐 OHARA Kosuke	薬剤学

特色 Features

臨床に関わる専門知識と技能の修得

総合的な臨床技能を身につけます。地域連携JIIU臨床薬剤師研修プログラムは前期研修、後期研修から構成され、後期研修ではチーム医療専修コースおよび地域医療専修コースが用意され、学習者のニーズに即した実践力を身につけます。

薬剤疫学・医薬品評価科学分野の専門性を修得

“ドラッグラグ”に代表されるように、新薬開発から承認までに時間とコストがかかりすぎるという医薬品開発のボトルネックが存在します。臨床試験―治験の実施や規制当局に対する医薬品申請、諸外国との調和において、薬剤疫学や医薬品評価科学の専門性を持って活躍できる人材が必要とされています。

地域連携と国際協働に資するヒューマンイズムの醸成

チーム医療も国際協働も実効性を持って根付かせるためには、グループを構成する人々のローカル／グローバルヒューマンネットワークの構築が欠かせません。フィールドワークやワークショップ形式によるチーム基盤型学習(Team-based Learning)の実践を通じ、多職種連携やチーム医療の実践に必要な人間力、グループ内のマネジメント力を身につけます。

社会人に対する門戸の開放

医療薬学分野における活躍を希望する方々に薬学系大学出身者に限らず広く門戸を開放しています。社会人に対する授業は学習者の都合に応じて、平日の夕方(18時から20時半まで)や土曜日(9時半から16時)等に集中授業として開講するほか、所属する医療機関や実務の現場でおこなう研修・研究を活用して、研究活動を展開することも可能にしています。

修了後の進路 Post-graduation Careers

1. Pharmacists Practitioners

薬物治療のトータルマネジメントを担う総合臨床薬剤師

地域医療の崩壊が唱えられる中で、保健・医療・福祉等の多職種間のコーディネーターとなりうる薬剤師の育成を目的としています。地域医療の問題点を的確に把握し、薬物治療にかかわる解決策を立案するとともにその実践・評価を通じ、地域住民の治療や疾病予防、健康維持に貢献します。

2. Clinical Scientists

科学的洞察力と国際感覚を有する臨床研究者

医薬品のリスクとベネフィットをさまざまな角度から研究し、地域住民による医薬品の適正使用の普及啓蒙に貢献します。科学的視点から地域住民へのヘルスリテラシーの向上や包括的な薬剤師の職能向上・職域拡大に貢献します。

3. Pharmaceutical Scientists

高度な専門性を有する医療薬学分野の指導者

薬効・安全性学、医療薬理学、感染防御学、食品機能学、時間薬理学、和漢医薬学などの各研究分野で高度の専門性を有し、研究活動を通じた保健医療の推進と地域住民の健康維持・増進に貢献します。

4. Pharmaceutical Regulatory Scientists

薬剤疫学や医薬品評価科学に精通した専門家

レギュラトリーサイエンス(評価科学)は、科学技術の進歩を人間との調和の上で最も望ましい形に調整する科学とされます。本領域は、医薬品や医療機器を活用するための科学的根拠の収集や開発戦略の立案、および規制当局に対する提言等のレギュラトリーサイエンス発展に貢献します。

Graduate School of International Administration

国際アドミニストレーション研究科

国際アドミニストレーション専攻

[修士課程]

東京紀尾井町
キャンパス

社会人1年修了コースあり

ビジネス・アドミニストレーターと
パブリック・アドミニストレーターを育成する、
新時代にマッチした国際色豊かなカリキュラム

教育研究上の目的

国際アドミニストレーション研究科(修士課程)は、国際的視点も踏まえた企業・経営や行政・政策に関する系統的かつ総合的な知識や理論体系を習得すると共に、さらに高度な専門的知識と実務能力を併せ持つ国際の人材を育成する。

学位授与方針

(ディプロマ・ポリシー)

国際アドミニストレーション研究科は、以下の要件を満たした者に、「修士(国際アドミニストレーション)(Master of Arts in International Administration)」の学位を授与する。

▶政策研究、国際政治・経済研究、国際企業研究、観光研究などの領域において課題を発見し、深く掘り下げ研究することができる。

▶国際的かつ学際的な視野をもって、幅広い教養、専門的知識、実務及び専門能力、異文化適応力を修得し、高度の専門性を要する職場等で活用することができる。

教育課程編成・実施方針

(カリキュラム・ポリシー)

国際アドミニストレーション研究科では、教育研究上の目的に基づき、国際的かつ学際的教養を有し、「政策研究」「国際政治・経済研究」「国際企業研究」「観光研究」などの分野に精通し、国際社会で活躍できる高度な専門的職業人や研究者・教育者を養成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム(教育課程)を編成する。

1. 基本的な学習・研究能力を習得するため、分野横断の共通必修である基礎科目群を設置する。

2. 専門的な知識を体系的に学ぶため、政策研究科目群、国際政治・経済研究科目群、国際企業研究科目群、観光研究科目群を設置する。
3. 課題探究力、問題解決力、コミュニケーション能力及び批判性・論理性を備えた建設的思考力を修得し、政策研究、国際政治・経済研究、国際企業研究、観光研究のいずれかの分野に係る修士論文あるいはプロジェクト研究報告書を作成するため、演習科目を設置する。
4. 専門知識と実践を結び付けるため、実践的な活動を取り入れた事例研究科目群を設置する。
5. 幅広い国際教養と国際的な実践力を修得するため、特別講義科目群を設置する。
6. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び大学院生としての成長に伴う達成度を測定、評価する。

入学者受入れ方針

(アドミッション・ポリシー)

- ▶学際的な研究をおこなうことに強い意欲を持ち、専門的な知識や実践的な能力を高めようとする人
- ▶現代のグローバル社会が抱える諸問題に強い関心を持ち、問題解決に努め、貢献しようとしている人
- ▶創造性に優れ、グローバルリーダーとしての役割を果たしていくことに、強い意欲を持っている人



毎年多くの留学生が学ぶ国際色豊かな研究科



修士論文研究成果発表会の様子



Yahoo! 会社訪問

修了生の声 Alumni

国際色豊かなGSIAのプログラムで学問的知識だけでなく実践的なスキルを身につける

どんな研究テーマだとしても、心配することはありません。GSIAの教授陣は、常にあなたのやりたいことを励まし、全力でサポートしてくれます。彼らの指導の下、私は2年間でキャリアコンバージョン・サイクルと企業業績との関係に関する修論を完成させただけでなく、学術的な深い専門知識に加え、実際のビジネス現場をもとにした実践的なビジネス・スキルも身につけることができました。この国際志向のプログラムは、グローバル社会に必要なものをすべて提供しています。

ティエウ ティ タン フォンさん(ベトナム出身)
2023年8月 国際アドミニストレーション専攻修了
就職先: 株式会社クライスインテリジェンス



研究科の学際的プログラムと多彩な教授陣のご指導で学術研究の基礎を学びました!

GSIAは四つの専門領域で構成されていて、学際的、多角的に学べるところです。私は、上海市のゆとり教育政策の実施とその問題点について修士論文を書きましたが、GSIAで習得した分析の視点と方法論を活かすことができました。様々な研究分野の先生方に指導をいただき、研究者としての視野が広がり、思考力が鍛えられました。4月から始まった博士課程の研究にも大いに役立っています。

褚泓毅さん(中国浙江省台州市出身)
2023年3月 国際アドミニストレーション専攻修了
九州大学人間環境学府博士課程



大学院で学んだことが実務に活かしています

「台湾中小企業の深化と探索一両利きの経営の可能性」をテーマに修士論文を作成し、修了後、日本の工作機械メーカーで勤務しています。大学院で学んだ知識、チームメンバーとの信頼関係やコミュニケーション能力を生かし、世界のお客様一人ひとりと真摯に向き合っており、日本のものづくりをお薦めし、お客様の課題を解決していきます。

陳 宣霏さん(台湾台中市出身)
2023年3月 国際アドミニストレーション専攻修了
株式会社シギヤ精機製作所勤務



教員紹介／研究領域 Professors

研究科長／教授* 遠藤 十垂希 ENDOH Toake	国際移民、比較政治学、国際関係、政治リスク	准教授* 黒澤 武邦 KUROSAWA Takekuni	都市計画、観光まちづくり、公共政策、政治・政策形成プロセス	教授 呉 小莉 WU.XIAOLI	第二言語習得研究、異文化コミュニケーション学
教授* 松本 茂 MATSUMOTO Shigeru	企業戦略、M&A、事業分析と価値評価	准教授* 小松 悟朗 KOMATSU Goro	マクロ経済学、金融政策、計量経済学、データサイエンス	准教授 岩本 英和 IWAMOTO Hidekazu	観光政策、MICE
教授* 石井 伸一 ISHII Shinichi	経営戦略、マーケティング戦略、SCM、ロジスティクス、インフラマネジメント	教授 長谷川 正人 HASEGAWA Masato	航空ビジネス、経営管理	准教授 石谷 昌司 ISHITANI Masashi	英語教授法、観光英語、ホスピタリティ・サービス・マネジメント

※は演習(論文)指導教員

特色 Features

1. 便利で近代的な東京紀尾井町キャンパスでの授業

2. All Englishコース併設

国際アドミニストレーション研究科は主に日本語で指導されていますが、グローバル教育をさらに促進するために、英語でも修士号が取得できるコースを開設しています。英語で授業を受け、英語で修士論文を作成し、2年間で修了するコースです。日本語の修士課程履修者も認められれば英語での講義を履修できます。

■対象

外国人留学生、英語に興味のある日本人学生、グローバルな社会でリーダーを目指す社会人

■特徴

- ①キャリアや資格を意識した4つの専門研究分野で構成されています。
- ②国際経験豊かで実践的な教授陣が授業を行います。
- ③国内外の実務に精通した講師を迎えての特別セミナーを開催します。

■プログラム詳細

- ①授業、修士論文指導は英語で行います。
- ②授業レポートは全て英語で提出します。
- ③教職員が履修の仕方から、レポート提出方法まで英語(あるいは日本語)でサポートします。
- ④修了期間は2年、修了単位は修士論文指導を含む34単位以上です。
- ⑤社会人は修士論文あるいはプロジェクト研究報告書の選択ができます。

3. 社会人のための配慮

仕事を続けながら修士号取得を目指す社会人学生のために、次のような環境を提供しています。

- ①交通至便で国際色豊かなキャンパス
- ②多様で経験豊富な教授陣
- ③授業は社会人に便利な夕方に集中
- ④All Englishコース(英語の授業のみで修了可)もあり、英語・日本語両方の修学も可能
- ⑤社会経験を生かした単位認定制度で、1年でも修了が可能
- ⑥修士論文は仕事を題材にして探究できます

修了後の進路 Post-graduation Careers

【政策研究】中央省庁、地方自治体、政策研究所、シンクタンクなどの行政機関、民間組織(NPOやNGOなど) 等

【国際政治・経済研究】国連関連機関、中央省庁(外務省を含む)、地方自治体、国際協力、国際交流部門、外資誘致部門などの行政機関関連組織 等

【国際企業研究】海外に進出している日本のグローバル企業、日本に支社を持っている外資系企業やコンサルティング会社 等

【観光研究】航空会社、旅行業、ホテルなどの観光サービス企業 等

■修了者の進路先実績

アクセンチュア、JICAカザフスタン、GroupM、DJI Japan、森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社、駐日ハンガリー共和国大使館、天津市地下鉄会社、ホンダベトナムカンパニー(ベトナム)、株式会社ポーラ、株式会社大戸屋ホールディングス、株式会社エイチ・アイ・エス、三井物産株式会社、SMGNEWS融媒体中心、帝京大学、NIPPON語学院、株式会社日本医療機器開発機構、株式会社SEION、株式会社RSテクノロジーズ、シギヤ精機製作所 等

Graduate School of International Administration

[Master's Curriculum] A vibrant, internationally oriented curriculum
Nurturing business and public administrators for a new era

Tokyo Kioicho
Campus

One-year curriculum also available for those in current employment

Education and Research Objectives

The Graduate School of International Administration (GSIA) master's course aims to provide systematic and comprehensive knowledge in a theoretical frame of reference. Encompassing business administration, and from a public administration and policy-making global perspective, this course provides graduates with both a high level of specialized knowledge and practical skills.

Diploma Policy

GSIA grants the degree of Master of Arts in International Administration to those students who fulfill the following criteria:

- ▶Students should be able to identify issues and find theoretical and pragmatic solutions in the fields of public policy, international politics and economics, international business, and tourism.
- ▶Students must have acquired extensive knowledge from an international perspective that is interdisciplinary in nature. They also must have acquired practical and specialized skills, as well as the cultural adaptability necessary for professional positions requiring a high-level of specialization.

Curriculum Policy

Based on its stated educational and research aims, GSIA has developed a curriculum in accordance with the policies set out below. The curriculum is intended to nurture

professionals, researchers, and educators who possess international and interdisciplinary knowledge, are well versed in areas such as public policy, international politics and economics, international business, and tourism, and have high levels of specialized knowledge enabling them to make meaningful contributions in international settings.

- ▶International administration theories and methodology: Students must obtain basic study and research capabilities through theoretical and methodological coursework required for all fields of study.
- ▶Fields of study: Coursework shall be organized into four key fields of study - public policy, international politics and economics, international business, and tourism - enabling students to systematically gain specialized knowledge in their chosen field.
- ▶Case studies: Incorporating practical activities with the aim of linking knowledge and practice.
- ▶Special lectures: Containing coursework that helps to further broaden international knowledge and skills.
- ▶Seminars: Classes that help students work from a foundation of specialized knowledge to develop issue-identification, problem-solving, and communication skills, together with the ability to think critically, logically, and constructively. Compulsory seminar coursework includes the preparation of a master's thesis or a project research report as a requirement for course completion.
- ▶Internships shall be employed to encourage proactive career development, as necessary.

GSIA Admissions Policy

GSIA seeks the following types of people for admission:

- ▶People who have a strong desire to perform interdisciplinary research and who are seeking to achieve higher levels of specialized knowledge and practical skills.
- ▶People who have a strong interest in the problems facing global society and who want to contribute to their solution.
- ▶People who excel in creativity and have a strong desire to fulfill roles as global leaders.



Student presentations



Graduating students

Alumni

Obtain academic knowledge and practical skills through the global-oriented GSIA program

Don't hesitate if you feel your thesis is unusual or niche, the faculty at GSIA will always encourage you and provide support so you can do the research you want, which is the thing that matters the most. Following their instructions and guidance, I was able to complete my thesis on the relationship between the cash conversion cycle and firm performance within two years. I gained not only in-depth academic knowledge, but also practical business skills obtained from business field trips. This internationally focused program provides everything you need to advance in our globalized society.



TIEU THI THANH PHUONG (Vietnam)
Master of International Administration, Class of August 2023
Employer: Crisis Intelligence

The GSIA program provided me with interdisciplinary and global perspectives as well as high-level academic research skills

GSIA consists of four specialized areas of study and assists students so that they can conduct research in an interdisciplinary manner and from multiple angles. I wrote my master's thesis on the implementation of Shanghai's "Yutori" education policy and its problems. I was able to utilize the analytical perspectives and methodologies I had learned at GSIA. I received guidance from professors in various research fields, which broadened my perspectives as a researcher and strengthened my analytical skills. I hope to make most of these assets for my doctoral study.



Chu Hongyi (China)
Master of International Administration, Class of August 2023
Kyushu University, Graduate School of Human-Environment Studies

Everything I learned at GSIA is helping in my current career

I wrote my master's thesis about ambidexterity in small firms in Taiwan. I am now working at a machine tool supplier in Japan, and I am involved in marketing CNC (Computer Numerical Control) machines and products to customers around the world. The knowledge about management I learned at GSIA is useful for my career and I enjoy working with my team members.



CHEN HSUAN PEI (Taichung, Taiwan)
Master of International Administration, Class of March 2023
Employer: Shigiya Machinery Works Ltd.

Faculty and their Research Interests

Dean/Professor* ENDO H Toake	International migration, comparative politics, international relations, and political risk	Associate Professor* KUROSAWA Takekuni	City planning, tourism-oriented urban planning, public policy, and politics and policy-making processes	Professor WU, XIAOLI	Second language acquisition, intercultural communication
Professor* MATSUMOTO Shigeru	Corporate strategy, mergers and acquisitions (M&A), and business analysis and valuation	Associate Professor* KOMATSU Goro	Macroeconomics, monetary policy, econometrics, data science	Associate Professor IWAMOTO Hidekazu	Tourism policy and MICE (meetings, incentives, conferences and exhibitions)
Professor* ISHII Shinichi	Management strategy, marketing, supply chain management (SCM), logistics, innovation and infrastructure management	Professor HASEGAWA Masato	Airline industry, business management	Associate Professor ISHITANI Masashi	English language teaching, tourism English, hospitality service management

※ Thesis Advisors

Program Features

1. Classes taught at the modern, conveniently located Tokyo Kioicho Campus
An ideal environment for those who would like to obtain a master's degree while in employment.

1. Conveniently located campus with a vibrant international atmosphere.
2. Diverse faculty with extensive experience.
3. Classes available in the evenings and on Saturdays.
4. Classes conducted in English. Graduation possible with English-only coursework or with a combination of English and Japanese coursework.
5. System for granting credits for professional experience enables graduation in as little as one year.
6. Master's thesis can be based on work-related topics.

2. English-language curriculum

GSIA mainly conducts classes in Japanese, however, in view of the need to further enhance global education, an English-language master's degree curriculum has been established. Students enrolled in this two-year program can take courses conducted in English and prepare a master's thesis in English. Students enrolled in the Japanese-language master's program may also be able to take English-language courses.

■Program designed for:
International students and Japanese students who have advanced English, possess a keen interest in international administration, and wish to play a leading role in the further development of our globalized society.

■Program characteristics

1. The program consists of four career-oriented and qualification-oriented fields of study - public policy, international politics and economics, international business, and tourism.
2. Classes are conducted by faculty with a wealth of international experience and a practical approach to teaching.
3. Speakers with extensive practical experience are invited to conduct special lectures.

■Program details

1. Classes and master's thesis consultations are conducted in English.
2. Students prepare and submit class reports in English.
3. Faculty provides support in English (or Japanese where appropriate) on matters from class registration to report submission requirements.
4. Students complete the program in two years. The minimum number of credits required for graduation is 34, including a master's thesis.
5. Students who currently employed may be able to choose between submitting a master's thesis or a project research report.

Examples of Post-Graduation Careers

[Public Policy] Central government ministries, local governments, policy research institutions, think tanks and other government/government-related institutions, private organizations (NPOs, NGOs, etc.)
[International Politics and Economics] United Nations-related institutions, foreign ministries and other central government institutions, local governments, international cooperation organizations, international exchange organizations, inbound investment promotion organizations, and other government-related organizations
[International Business] Japan-based global companies, international and multinational companies with offices in Japan, and consulting firms
[Tourism] Air carriers, hotels, and other tourism-related companies

Employers Who Have Hired GSIA Graduates

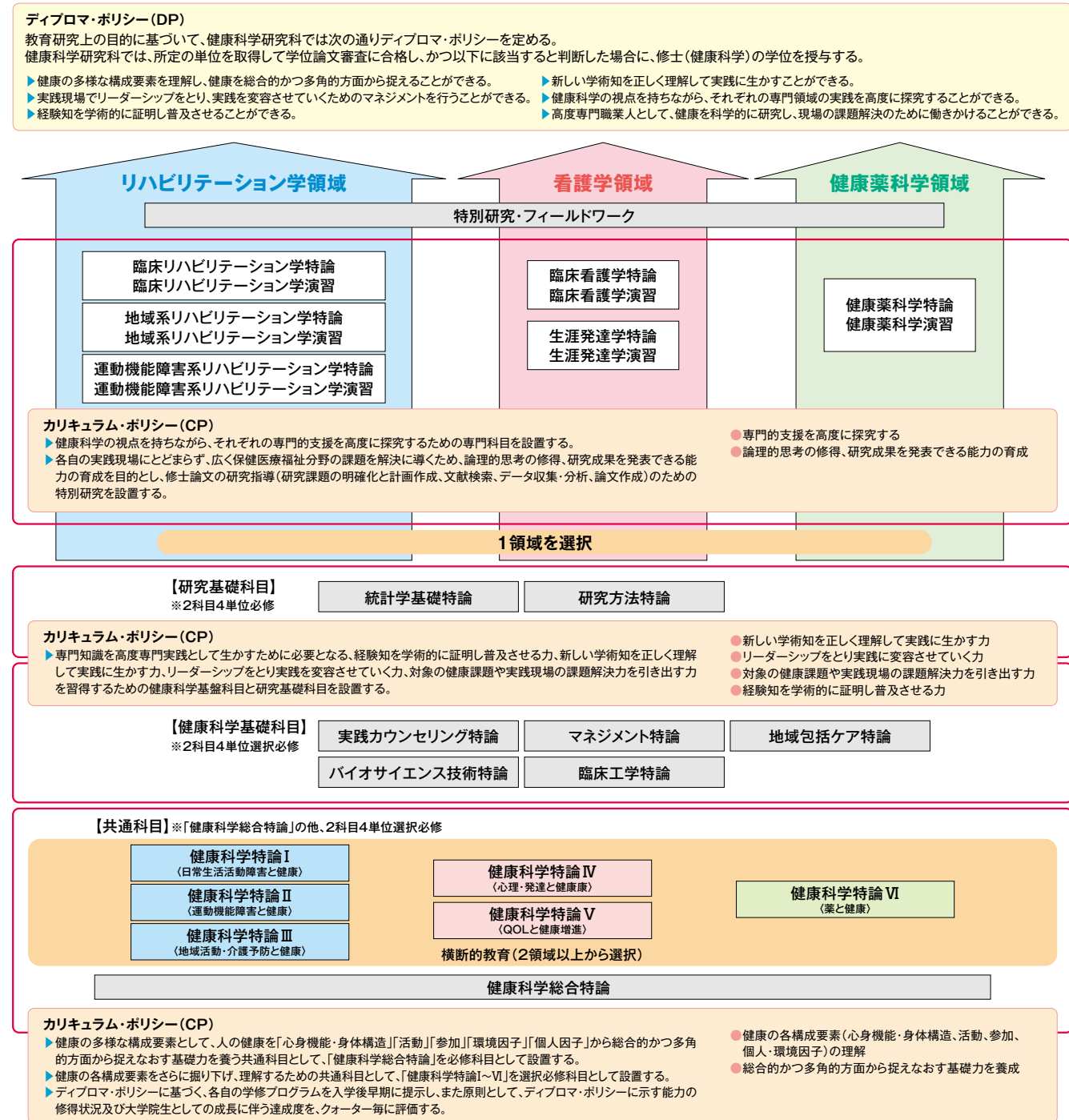
Accenture Japan / DJI Japan, K.K. / JICA Kazakhstan / Ministry of Foreign Affairs and Trade of Hungary / Group M Japan K.K. / H.I.S. Co., Ltd. / Honda Vietnam Co., Ltd. / Japanese Organization for Medical Device Development, Inc. / MITSUI & CO., Ltd. / Mori Trust Hotels & Resorts Co., Ltd. / NIPPON LANGUAGE ACADEMY / OOTOYA Holdings Co., Ltd. / POLA ORBIS HOLDINGS, Inc. / RS Technologies Co., Ltd. / SEION Co., Ltd. / SMGNEWS / Teikyo University / Tianjin Rail Transit Group Co., Ltd. / Shigiya Machinery Works, Ltd. / and others.

保健・医療・福祉の総合的視野をもちながら
自分の専門分野を発展させ、高められる
高度専門職業人の養成を目指す。

■ 教育研究上の目的

健康科学研究科は、保健・医療の分野を横断し、現代の健康問題に対応することができる総合的視野を養い、これまで培ってきた自身の専門性を掘り下げ、健康の構成要素を追求し、健康を科学的に研究できる人材を養成する。

■ DP・CPと各科目群との関係性



教員紹介／研究領域 Professors

研究科長／教授 谷内 幸喜 TANIUCHI Kouki	リハビリテーション学領域 神経生理学療法学、介護予防学	教授 清水 清美 SHIMIZU Kiyomi	看護学領域 助産・生殖看護	准教授 宮澤 純子 MIYAZAWA Junko	看護学領域 母性看護学、助産学
教授 四十竹 美千代 AITAKE Michiyo	看護学領域 成人看護学	教授 鈴木 明子 SUZUKI Akiko	看護学領域、 臨床看護学特論(演習)特別研究	准教授 川久保 悦子 KAWAKUBO Etsuko	看護学領域 高齢者看護学、認知症ケア
教授 秋元 雅之 AKIMOTO Masayuki	健康薬科学領域 生物薬剤学・薬物代謝学	教授 竹内 弥彦 TAKEUCHI Yahiko	リハビリテーション学領域 バイオメカニクス、人間工学	准教授 北田 素子 KITADA Motoko	看護学領域 基礎看護学、看護技術
教授 大橋 優紀子 OHASHI Yukiko	看護学領域 生涯発達看護学、 小児・家族看護学、地域看護学	教授 森藤 武 MORIFUJI Takeshi	リハビリテーション学領域 運動器系スポーツリハビリテーション	准教授 竹内 一成 TAKEUCHI Issei	健康薬科学領域・薬品物理化学、 ドラッグデリバリーシステム
教授 大森 直哉 OMORI Naoya	健康薬科学領域、 健康薬科学特論(演習)特別研究	特任教授 山村 重雄 YAMAMURA Shigeo	健康薬科学領域 医療統計学、薬学教育	准教授 中尾 英俊 NAKAO Hidetoshi	リハビリテーション学領域 運動器系スポーツリハビリテーション
教授 鳥野 大 KARASUNO Hiroshi	リハビリテーション学領域 物理療法学・バイオメカニクス	准教授 大西 忠輔 ONISHI Tadasuke	リハビリテーション学領域 義肢装具学、人間工学(生体工学)	准教授 森下 勝行 MORISHITA Katsuyuki	リハビリテーション学領域 運動器系理学療法学、物理療法学
教授 後藤 武 GOTO Takeshi	健康薬科学領域、 健康薬科学特論(演習)特別研究	准教授 二宮 彩子 NINOMIYA Ayako	看護学領域 基礎看護学、看護管理	助教 栗原 靖 KURIHARA Yasushi	リハビリテーション学領域 バイオメカニクス、スポーツ理学療法

専任教員からのメッセージ

保健・医療・福祉系専門職者に対する高度専門職業人養成教育は、当然ながら学部教育だけでは難しいと考えます。現場に出て様々な実務経験をjする過程で、視野と人間理解が広がり、自身の専門性を掘り下げるだけではなく、幅広く捉えることの必要性の真の認識が生まれてくるものと思います。しかし、現実的には、いったん専門職として社会に出てしまうと忙しい現場業務に追われ、学習の場や機会はほとんどなく、複雑な要因が影響している現場の課題解決にはつながりにくいのではないのでしょうか。そのため、学部教育で培った専門性だけでは行き詰まりを感じながらも、やがて経験値といった手さぐりによる行為の継続に陥っていることを感じる専門職者も少なくないと思います。

本研究科は、従来の大学院教育である「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」だけではなく、「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」を担うことを主たる目的としているため、保健・医療・福祉系専門職者に対する卒業学習の受け皿的機能を備えたリハビリテーション学領域・看護学領域・健康薬科学領域の3つ領域を有しています。

専門分野的にも専門職種的にも、幅広い分野にわたる専任教員を配置しており、多種多様の入学生に対応しております。

一緒に研究をやってみませんか!まずは、門をたたいてみましょう!お待ちしております!

■ 入学者受入れ方針(アドミッション・ポリシー)

健康科学研究科では、全研究科方針のもと、健康科学研究科の教育方針に共感し、以下すべてに当てはまる人を求める。

- ▶ 看護師・保健師・理学療法士・作業療法士・薬剤師、その他の健康支援にかかわる職の教育を受けている人
- ▶ 自己の専門性をさらに高めることを通して、実践現場への寄与及び自己実現を目指す意欲を備えている人
- ▶ 高度専門職業人として必要とされる体系的知識を習得するために必要な語学力、及び基礎的思考能力を備えている人

特色 Features

■ 実践的・専門的なプログラムの提供…現場への出張指導

実践現場の課題・問題を研究へと進展させるため、キャンパス内での指導にとどまらず、大学院生の臨床・臨地現場に指導教員が赴きフィールドワークを実施します。

課題や問題となっている状況を直接研究指導につなげるとともに、必要に応じコンサルテーションも行います。

実際のフィールドで学習するプロセスによって、卒業後に高度専門職業人として直ちに活躍できる実践力を涵養していきます。



現場での出張指導

■ 社会人のための配慮

【学費面への配慮】

保健・医療・福祉の現場で活躍しながら、さらに高度な専門知識・技能を学びたいと望む社会人に対し、現職のまま修学可能な学びやすい環境を提供するために、「職業実践力育成プログラム(BP)」の認定を受けています。

【授業時間への配慮】

保健医療福祉現場に従事している社会人のリカレント教育を進展していくため、働きながら修学できるように最大限配慮します(土曜日・集中授業を活用した授業設定やITを活用した遠隔授業・指導など)。

個々の大学院生の職場での業務の都合で、2年間で健康科学研究科を修了することが困難な場合、最大4年までの長期履修制度を設け、個々の事情に応じた期間で、科目履修や研究活動を行えるように支援します。



遠隔地からの授業参加